# 第27回
# Information Meeting

## ～平成25年度決算および
## 第5次中期経営計画「ビジョン75 いい銀行づくり」～

飾らない銀行

京都銀行

平成２６年６月１２日

## Ⅰ．業績概要


1．平成25年度決算総括 ･･･ 3
2．平成25年度決算概要 ･･･ 4
3．平成26年度決算見通し ･･･ 5
4．配当について ･･･ 6


## Ⅱ．第5次中期経営計画 「ビジョン75 いい銀行づくり」


1．広域型地方銀行・第2ステージ ･･･ 8
2．成長に向けた戦略的投資 ･･･ 9
3．新中期経営計画「ビジョン75いい銀行づくり」 ･･･ 10
4．リテール営業の徹底強化 ･･･ 11
5．リテール貸出金の状況 ･･･ 12
6．リテールミッション1000 ① ･･･ 13
7．リテールミッション1000 ② ･･･ 14
8．個人金融資産取引の拡大 ･･･ 15
9．店舗ネットワーク ･･･ 16
10．新設店舗の状況 ･･･ 17
11．市場部門における運用方針 ･･･ 18
12．人材戦略 ･･･ 19
13．業務改革戦略 ･･･ 20
14．グループ収益の拡大 ･･･ 21
15．社会貢献活動 ･･･ 22


## Ⅲ．第5次中期経営計画・計数計画


1．中期経営計画・計数計画 ① ･･･ 24
2．中期経営計画・計数計画 ② ･･･ 25


## Ⅳ．資料編


資料編 1．貸出金（主体・エリア別） ･･･ 27
資料編 2．預金・譲渡性預金（主体・エリア別） ･･･ 28
資料編 3．有価証券投資の状況 ･･･ 29
資料編 4．利回・資金利益 ･･･ 30
資料編 5．役務取引等利益 ･･･ 31
資料編 6．経費 ･･･ 32
資料編 7．自己資本比率（国内基準） ･･･ 33
資料編 8．統合リスク管理 ･･･ 34
資料編 9．信用コストの状況 ･･･ 35
資料編10．開示債権の状況 ･･･ 36
資料編11．開示基準別の分類・保全状況 ･･･ 37
資料編12．プロフィール ･･･ 38

# Ⅰ．業績概要

京都銀行

# 平成25年度決算のポイント

## 預貸金

◆ 残高は個人預金、中小企業等貸出金を中心に増加し、営業基盤は引き続き順調に拡大

◆ 預金＋NCD残高
6兆9，844億円　（前年度比＋1，357億円）
≪うち個人預金　前年度比＋2，144億円≫

◆ 貸出金残高
4兆2，232億円　（前年度比＋968億円）
≪うち中小企業等貸出金 前年度比＋741億円≫

## 当期純利益（単体）

◆ 業績予想（150億円）を上回る水準を達成
160億円　（前年度比＋16億円）

## 配　当

◆ 期末配当は6年ぶりに普通配当を1円増配し6円
年間配当金は1株につき11円を予定
（中間配当は5円を実施済）

# 2. 平成25年度決算概要

京都銀行

（単位：億円）

| | 24年度 | 25年度 | 前年度比 |
|---|---|---|---|
| 業務粗利益 | 857 | 814 | △43 |
| 資金利益 | 713 | 701 | △12 |
| 役務取引等利益 | 69 | 79 | 10 |
| その他業務利益 | 74 | 33 | △41 |
| うち国債等債券損益 | 70 | 21 | △49 |
| 経費 | 555 | 573 | 18 |
| 実質業務純益 | 302 | 240 | △62 |
| コア業務純益 | 231 | 219 | △12 |
| 一般貸倒引当金繰入額　（A） | △33 | － | 33 |
| 業務純益 | 336 | 240 | △96 |
| 臨時損益 | △88 | 23 | 111 |
| うち不良債権処理額　（B） | 66 | 1 | △65 |
| うち貸倒引当金戻入益（C） | － | 2 | 2 |
| うち株式等関係損益 | △27 | 1 | 28 |
| 経常利益 | 247 | 264 | 17 |
| 特別損益 | △3 | △5 | △2 |
| 当期純利益 | 144 | 160 | 16 |
| 信用コスト　（A）＋（B）－（C） | 32 | △1 | △33 |

＜参考＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 連結当期純利益 | 175 | 167 | △8 |
| （　）は負ののれん発生益を除くベース | (146) | | (21) |

## 実質業務純益

国債等債券売却益の抑制による業務粗利益の減少及び新営業店システム導入等に伴う経費の増加により前年度比減益

## 経常利益

信用コスト及び株式等関係損益の大幅改善により前年度比増益

※信用コストは全体で戻入益（△1億円）

## 当期純利益

業績予想（※）を上回り、前年度比16億円増加の160億円を達成

※業績予想　・・・　150億円
（H25.11.11公表）

## 連結当期純利益

24年度の負ののれん発生益（29億円）を除くベースでは前年度比増益

# 3. 平成26年度決算見通し

京都銀行

（単位：億円）

| | 25年度 | 26年度（予想） | 前年度比 |
|---|---|---|---|
| 業務粗利益 | 814 | 800 | △14 |
| 資金利益 | 701 | 696 | △5 |
| 役務取引等利益 | 79 | 83 | 4 |
| その他業務利益 | 33 | 21 | △12 |
| うち国債等債券損益 | 21 | 9 | △12 |
| 経費 | 573 | 583 | 10 |
| 実質業務純益 | 240 | 217 | △23 |
| コア業務純益 | 219 | 208 | △11 |
| 一般貸倒引当金繰入額 (A) | ― | △6 | △6 |
| 業務純益 | 240 | 223 | △17 |
| 臨時損益 | 23 | 15 | △8 |
| うち不良債権処理額 (B) | 1 | 16 | 15 |
| うち貸倒引当金戻入益 (C) | 2 | ― | △2 |
| うち株式等関係損益 | 1 | ― | △1 |
| 経常利益 | 264 | 238 | △26 |
| 当期純利益 | 160 | 161 | 1 |
| 信用コスト (A)＋(B)－(C) | △1 | 10 | 11 |

＜参考＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 連結当期純利益 | 167 | 168 | 1 |

**資金利益**

引き続き利回低下を想定するが、減少幅は縮小

（P24参照）

**経　費**

前年度の大型投資の影響等によりピークを想定

（P25参照）

**信用コスト**

引き続き低位安定を想定するが、保守的に10億円を織り込む

**当期純利益**

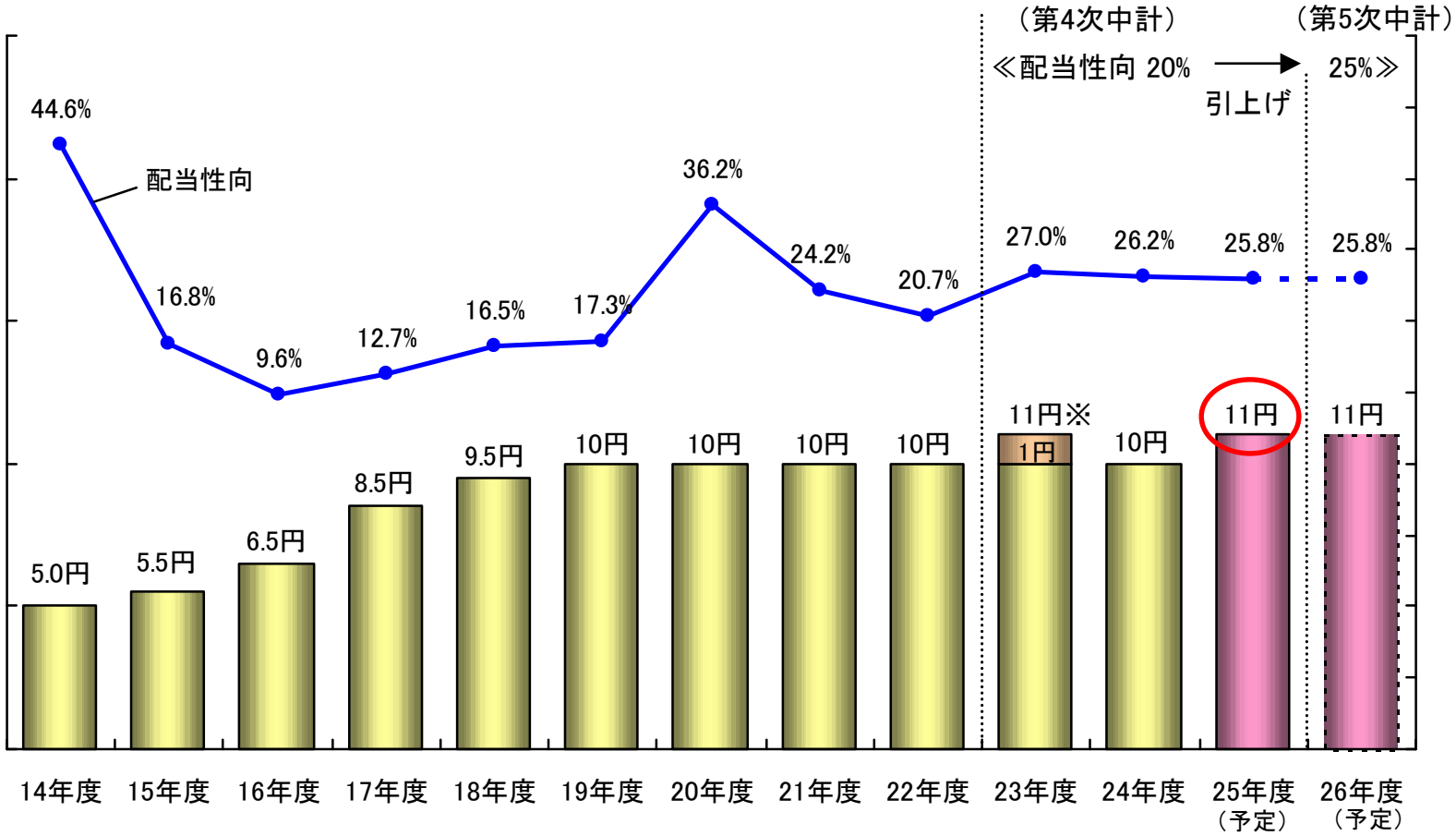
単体・連結ともに最終純利益は前年度水準を確保

# 4. 配当について

京都銀行

○配当政策　25年度は6年度ぶりに普通配当を1円増配、年間11円を実施
26年度も年間で同額（11円）を継続（予定）

＜配当方針＞　安定配当を基本としつつ、当期純利益に対する配当性向25%を目安とする




※23年度のうち1円は70周年記念配当

# Ⅱ．第５次中期経営計画
# 「ビジョン75　いい銀行づくり」

# 1. 広域型地方銀行・第2ステージ

京都銀行

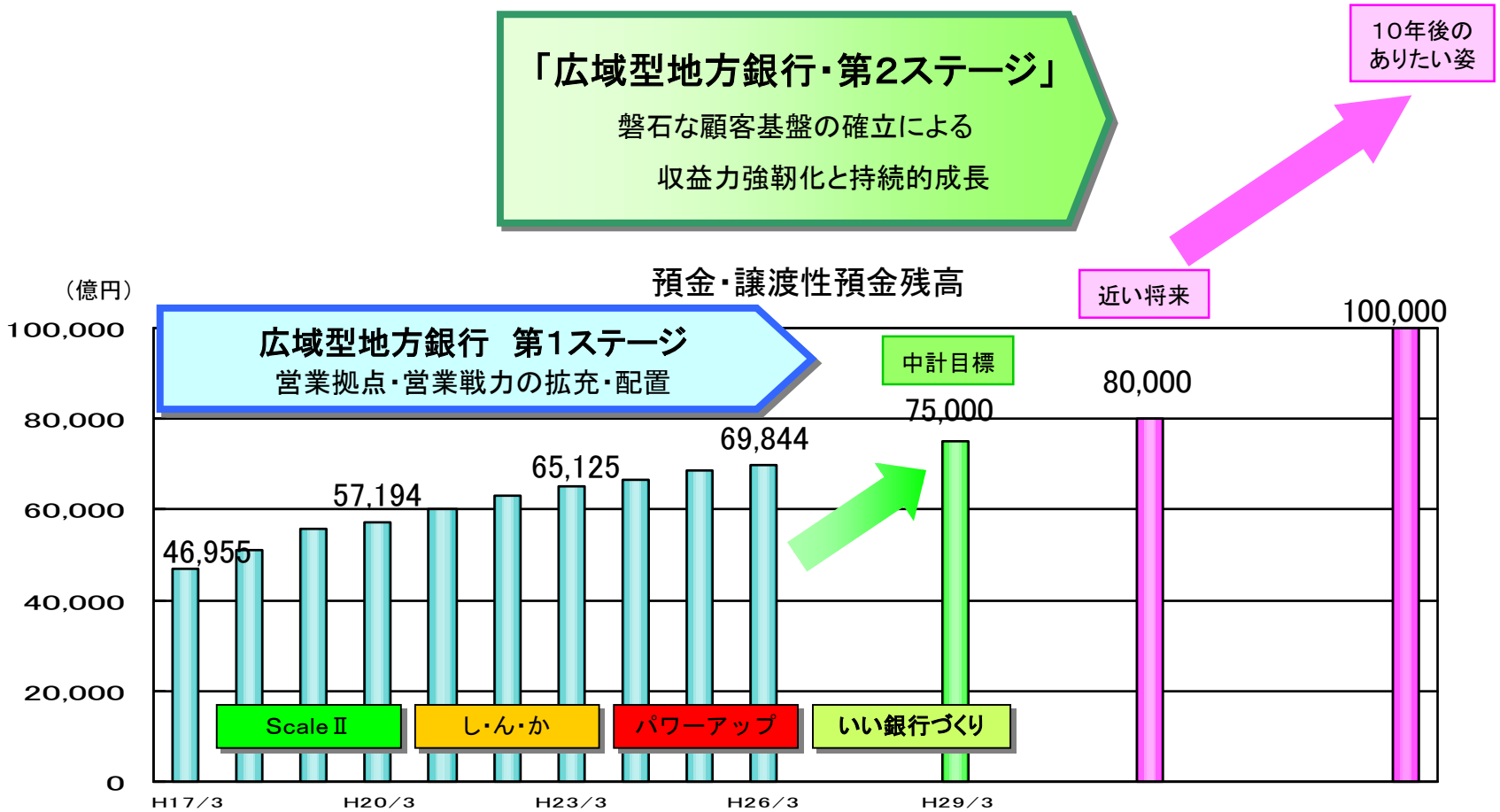
| Scale Ⅱ | し・ん・か | パワーアップ ～躍進と躍動～ | ビジョン75 いい銀行づくり | 5年後のあるべき姿 10年後のありたい姿 |
|---|---|---|---|---|
| H17/4～20/3 | H20/4～23/3 | H23/4～26/3 | H26/4 ～ 29/3 | |

“地元京都”で絶対的な経営基盤を構築し、
近畿2府3県において圧倒的な存在となる。
～京都府内預貸金シェア30%の早期達成～
～預金量10兆円銀行への挑戦～

『広域型地方銀行』 のネットワークを活かし、

点から線、線から面、面を深掘りし、「地域のメインバンク」へ

「広域型地方銀行・第2ステージ」
磐石な顧客基盤の確立による
収益力強靭化と持続的成長



# 2. 成長に向けた戦略的投資

京都銀行

## 経営資源を有効活用し、更なる成長を目指す

| | Scale Ⅱ<br>H17/4～20/3 | し・ん・か<br>H20/4～23/3 | パワーアップ<br>H23/4～26/3 |
|---|---|---|---|
| 店舗等ネットワーク | 新設店17か店設置<br>難波、神戸、奈良、彦根、城東、八尾、堅田、登美ヶ丘、鴻池新田、橿原、近江八幡、川西、六甲道、大和郡山、千里中央、西宮、振込専用（仮想店舗）<br>本店東館開設<br>京銀ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞﾌﾟﾗｻﾞ、京銀お客さまｻﾛﾝ設置<br>店舗リニューアル3か店実施<br> <br>大阪府下の新設店で初の「地上店」<br>鴻池新田支店（大阪府）<br>平成19年4月開設 | 新設店17か店設置<br>堺、豊中、伊丹、南草津、JR尼崎駅前、大津、生駒、長岡今里、吹田、石山、円町、八日市、山科小野、二条駅前、新石切、交野、水口<br>店舗リニューアル9か店実施<br> <br>京都府に9年ぶりに新規出店<br>長岡今里支店（京都府）<br>平成21年11月開設 | 新設店11か店設置<br>名古屋、聖護院、摂津、大日、王寺、池田、福知山駅南、尼崎北、長岡京駅前、堺北花田、歌島橋<br>店舗リニューアル13か店実施<br> <br>26年ぶり名古屋へ再進出<br>名古屋支店（愛知県）<br>平成23年4月開設 |
| 人材 | ・営業店の増加に対応するため、計画的な新卒採用および中途採用を実施<br>・女性キャリアサポートプロジェクト立ち上げ<br>期末人員（H20/3）<br>人数 2,898人<br>平均年齢 36歳2か月 | 社内研修機関（本部組織）「京都銀行金融大学校」を創設<br> <br><br>期末人員（H23/3）<br>人数 3,218人<br>平均年齢 35歳6か月 | ・若手育成の専担組織「地域サポート営業部」を創設<br>・女性の活躍支援として総合支援策「きららプログラム」実施<br>・新研修施設　桂川ｷｬﾝﾊﾟｽ完成<br>期末人員（H26/3）<br>人数 3,361人<br>平均年齢 36歳1か月 |
| サービス・システム | ・預かり資産総合支援システム導入<br>・ICキャッシュカード一体型クレジットカード「京銀カードネオ」の発行開始<br> <br><br>京都カードネオ | ・渉外ナビゲーションシステムの導入<br>・京銀テレビ会議システム導入<br> <br>京銀テレビ会議システム | ・渉外支援端末iPad導入<br>・EBMシステム導入<br>・新営業店システム導入<br> <br>新営業店システム（双方向端末） |

# 3. 新中期経営計画「ビジョン75　いい銀行づくり」

京都銀行

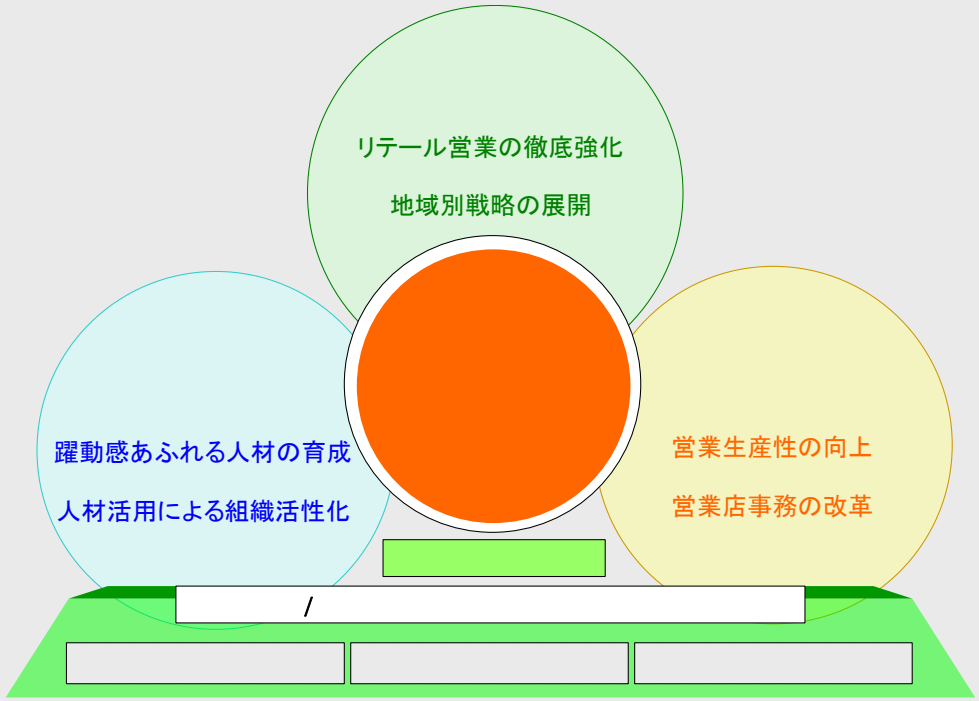
## 創立 75 周年（平成28年度・中計最終年度）に

預金＋譲渡性預金残高　7兆5千億円

リテール預貸和　　7兆5千億円　（リテール貸出金3兆円＋個人預金4兆5,000億円）

当期純利益　　175億円　を達成

＜計画名称＞　ビジョン75　いい銀行づくり




| リテール営業の徹底強化 |
| --- |
| リテール貸出金残高　年間　1,000億円増加 |
| 個人金融資産残高　3年間　5,500億円増加<br>（個人預金＋個人預かり資産） |

【平成28年度・中計最終年度】

法人ぐるみ関連　年間利益額　25億円

預かり資産関連　年間利益額　60億円

# 4. リテール営業の徹底強化

京都銀行

## リテール預貸和　7兆5，000億円　の達成を目指す

（リテール貸出金　3兆円　＋　個人預金　4兆5，000億円）

**【中計目標】** リテール貸出金残高　3兆円

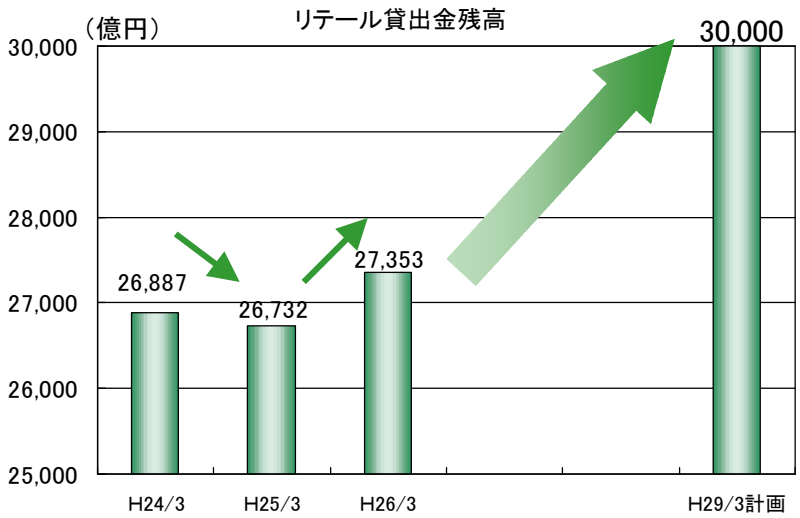
**「リテールミッション1000」 全行運動（平成25年2月～）を継続実施**

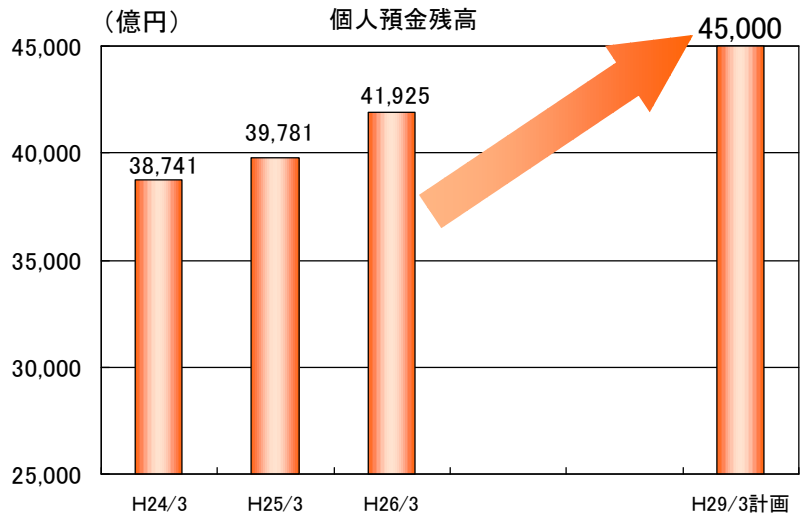
（年増1,000億円 / リテール企業貸出500億円＋住宅ローン500億円）

リテール貸出金は増加トレンドに反転

**【中計目標】** 個人預金残高　　4兆5，000億円

- 「資産家・シニア向け」等に対するコンサルティング営業の強化
- 個人稼動顧客数、個人メイン先数等、取引基盤の拡大



# 5. リテール貸出金の状況

京都銀行

**「リテールミッション1000」 全行運動（平成25年2月～）開始以降、リテール貸出金の年増額が拡大**

- 「融資推進室」（平成25年4月新設）による 融資案件の掘り起こしをサポート
- 事業先向け戦略融資商品の活用
- 「個人ローン室」（平成25年4月新設）による 住宅ローンの推進支援

**リテール貸出金の増加トレンドを定着**

**「広域型地方銀行・第2ステージ」**

磐石な顧客基盤の確立による

**収益力強靭化と持続的成長**

5年後のあるべき姿

**“地元京都”で絶対的な経営基盤を構築**

～京都府内預貸金シェア30%の早期達成～

- 取引先の「メイン化」、さらにメイン先の「（実質）一行取引化」へ

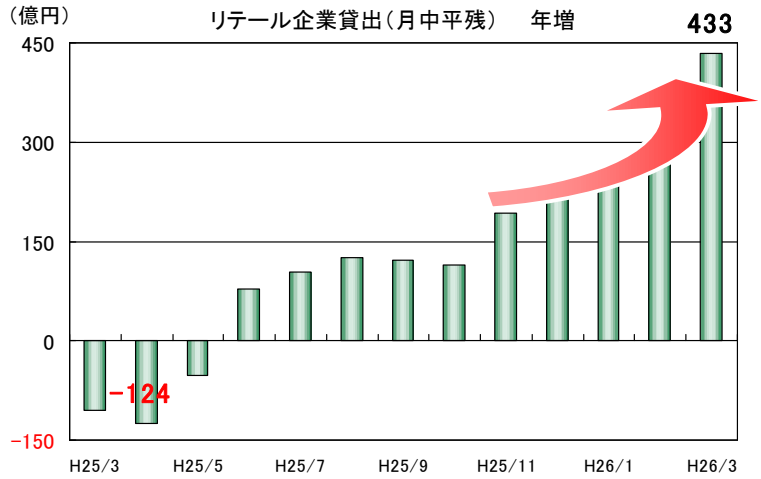
10年後のありたい姿

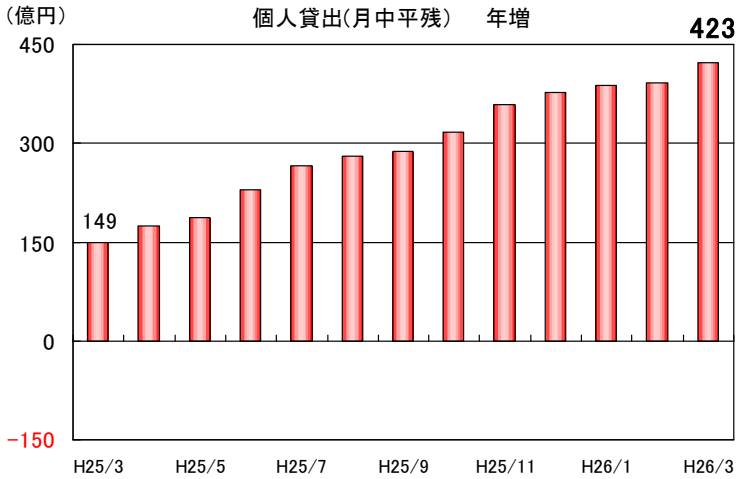
**近畿2府3県において圧倒的な存在となる**

～預金量10兆円銀行への挑戦～

- 新設店は、顧客基盤の拡充、収益の拡大に取組む

**リテール貸出金の年増 状況**



# 6. リテールミッション1000①ｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ機能の発揮

京都銀行

**コンサルティング機能の充実による企業の成長支援、地域経済の活性化支援の強化を通じ、資金需要・収益機会を創出**

## ビジネスマッチング・M&A

### ビジネスマッチング・商談会の積極展開

・個別のビジネスマッチングによる取引先紹介や「京銀ビジネス商談会」、「地方銀行フードセレクション」の開催により、商談機会を設定

地方銀行フードセレクション

### M&A業務にかかる体制強化

・企業買収による成長戦略を有する顧客への積極的な支援
・M&A専門家　20名養成（3年間）

「地域再生・活性化ネットワーク」の活用

## 海外展開

**アジアサポート体制の強化**

・4か所目の海外拠点 バンコク駐在員事務所開設（平成25年9月）
・取引先現地法人への直接投資及び提携海外銀行を通じた資金調達支援の強化

**海外商談会の開催**

・「日中ものづくり商談会」、「ビジネス交流会」等の実施

**外為営業に強い人材を100名養成（3年間）**

## 地域経済活性化

地元の地公体・経済団体と連携を一層深め、地域経済の活性化をはかるべく、営業支援部に**「地域活性化室」を新設（平成26年4月）**

資金需要の分析、方針策定

## 成長融資

**審査部を「融資審査部」に名称改正するとともに、融資審査部内に融資戦略の司令塔として、「融資戦略室」 を新設（平成26年4月）**

●取引先の成長や経営改善等につながる新規融資審査
●資金需要の見通し分析、融資方針の策定
●資金需要の高まりが期待できる事業分野（業種）・地域（エリア）についての分析等

# 7. リテールミッション1000②個人貸出の推進

京都銀行

**大規模住宅開発エリアへ　大胆かつ機動的に営業戦力を投入し、住宅ローンを拡大**

「京都桂川 つむぎの街」<京都府>
（マンション中心　約1,500戸分譲）

※当エリア内に「金融大学校桂川キャンパス」が竣工（平成26年3月）

← 本店住宅ローンセンターより担当者を派遣

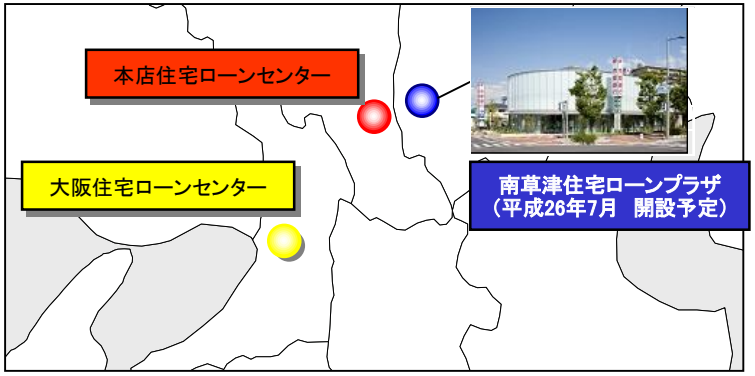
← エリア内に店舗　新設を予定

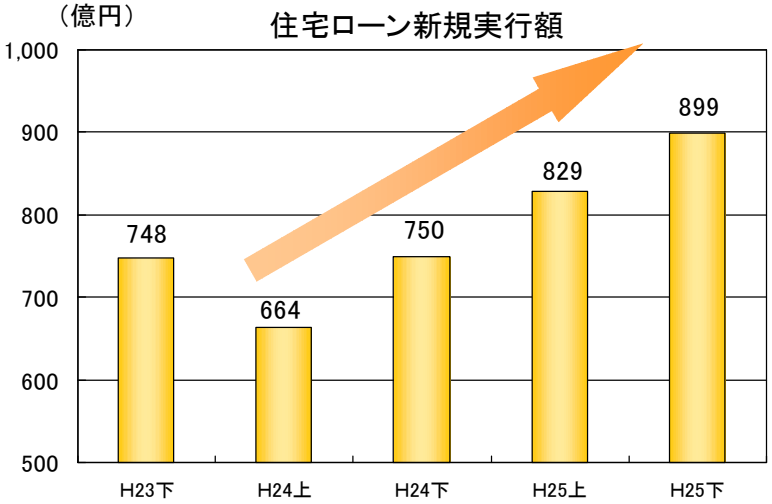
「南草津プリムタウン」 <滋賀県>
（戸建て中心　約1,000戸分譲）

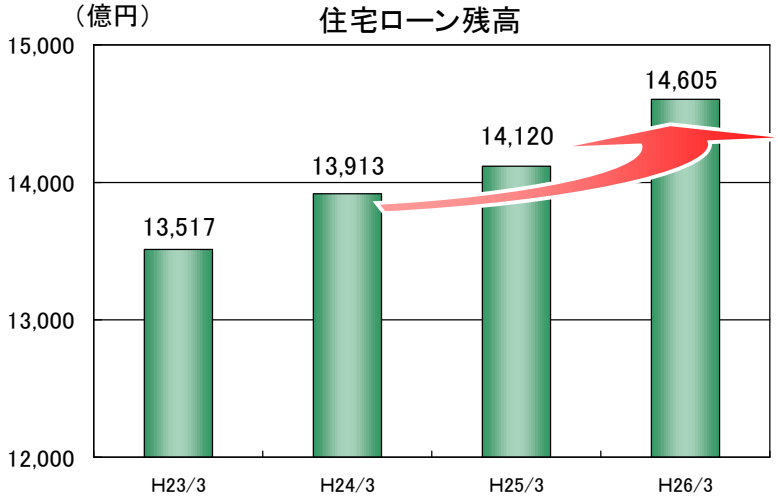
← 南草津住宅ローンプラザ（南草津支店内）

＊住宅ﾛｰﾝｾﾝﾀｰ…住宅ローンの営業推進拠点
＊住宅ﾛｰﾝﾌﾟﾗｻﾞ…住宅ローンに特化した休日営業店舗

住宅ローンセンター・住宅ローンプラザの展開



# 8. 個人金融資産取引の拡大

京都銀行

## 個人向けｺﾝｻﾙﾃｨﾝｸﾞ営業の取組強化により、役務取引等利益の拡大をはかる

### ●営業戦力の効果的な配置

・「地元京都府、滋賀・奈良エリア」の個人部門強化

### ●EBM情報を活用した効率的・効果的な営業展開

・金融マーケティングにおける地銀連携を発展させ、地銀7行（北海道、群馬、横浜、北越、北陸、西日本シティ、当行）が共同開発した「共同MCIFシステム」を活用

EBM情報
顧客の金融ニーズの顕在化
顧客属性の変化

→ 情報配信 → 営業店

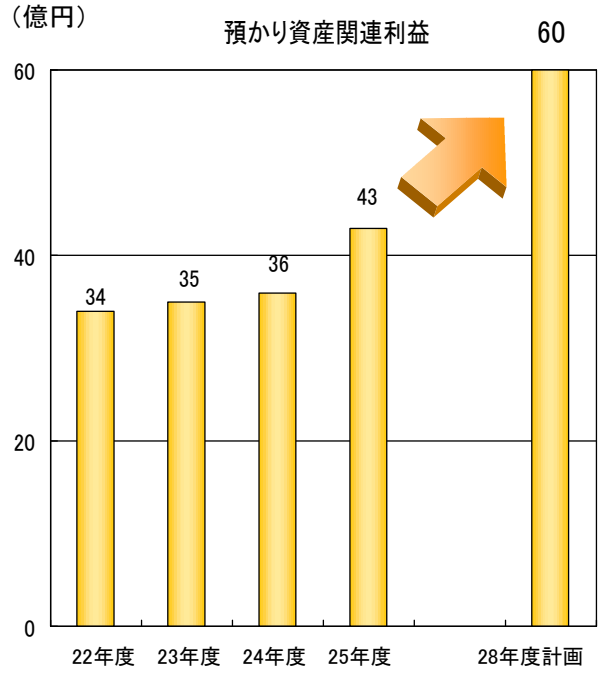
タイミングのよい的確な提案
効率的・効果的な営業展開

### ●戦力強化

・本部OJT専担組織「地域サポート営業部」において、預かり資産営業における実践研修を実施

| 研修期間 | 対象者 | 研修形式 |
|---|---|---|
| 3か月 | 12名（第1回） | 「現場（営業店）での実践」と「本部での集合研修」を反復で繰り返すインターバル形式 |

→ 年間70～80名の育成を目指す




## 「資産家・シニア向け」に対するコンサルティング営業を強化

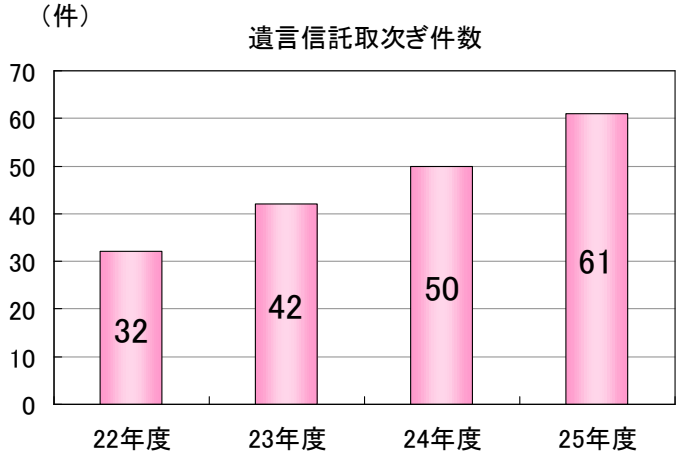
### ●営業戦力・組織の強化 （中計3年間で 専門家30名育成）

・資産家･シニア層が有する相続を始めとする多様なニーズに対応できる営業人員の育成

⇒営業店のコンサルティング力を強化

・個人資産家の相続対策や法人の自社株承継対策などによる高度なコンサルティングを行う専門家を養成し、本部による営業支援を強化

⇒「個人コンサルティング推進室」（平成25年4月新設）
4名体制（平成26年4月現在）から順次増員の予定



# 9. 店舗ネットワーク

京都銀行

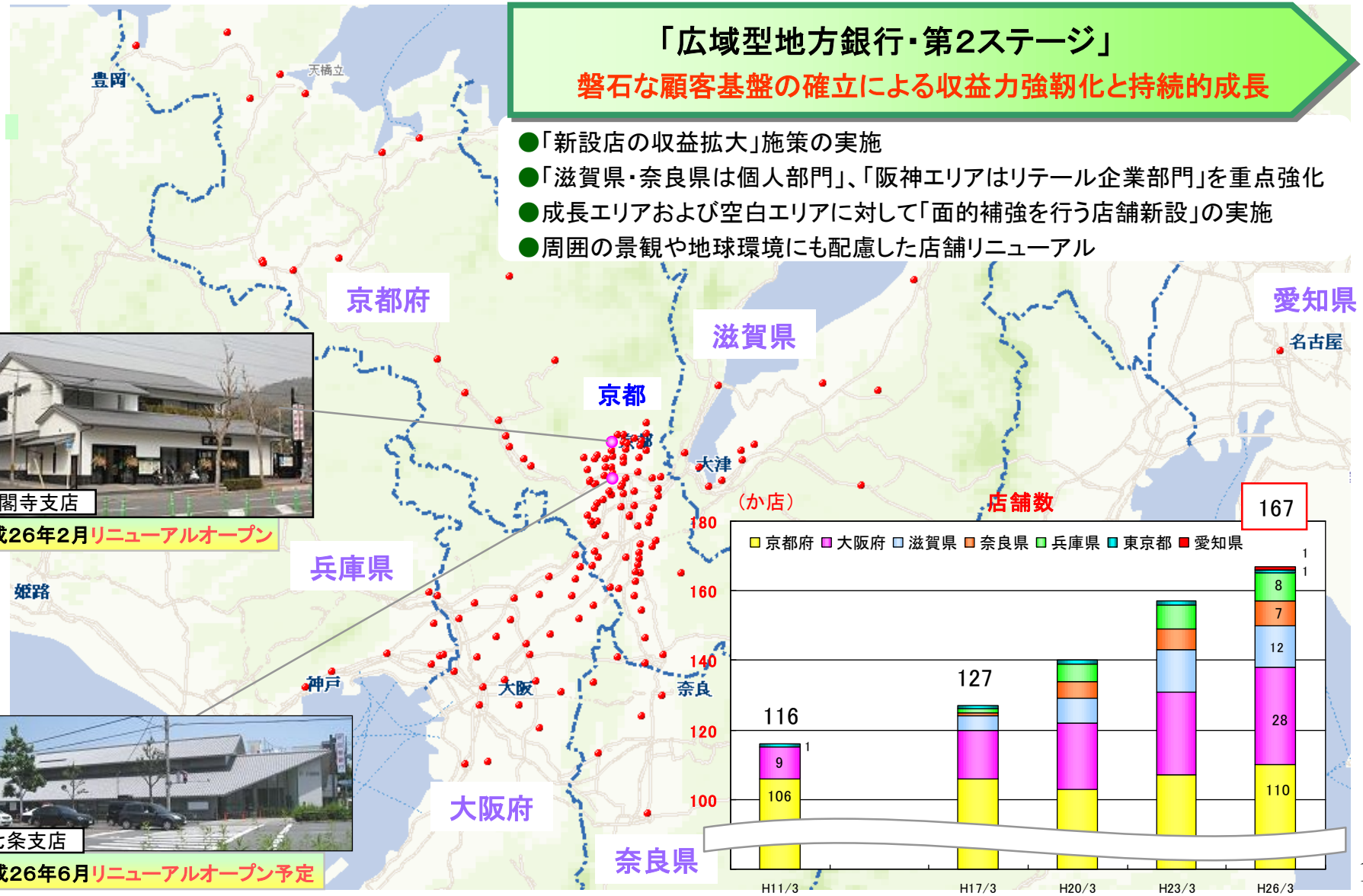
**近畿2府3県を中心に国内店舗167か店の店舗ネットワークを構築（国内支店数　地銀第4位※）**

※平成25年3月末

**「広域型地方銀行・第2ステージ」**

**磐石な顧客基盤の確立による収益力強靭化と持続的成長**

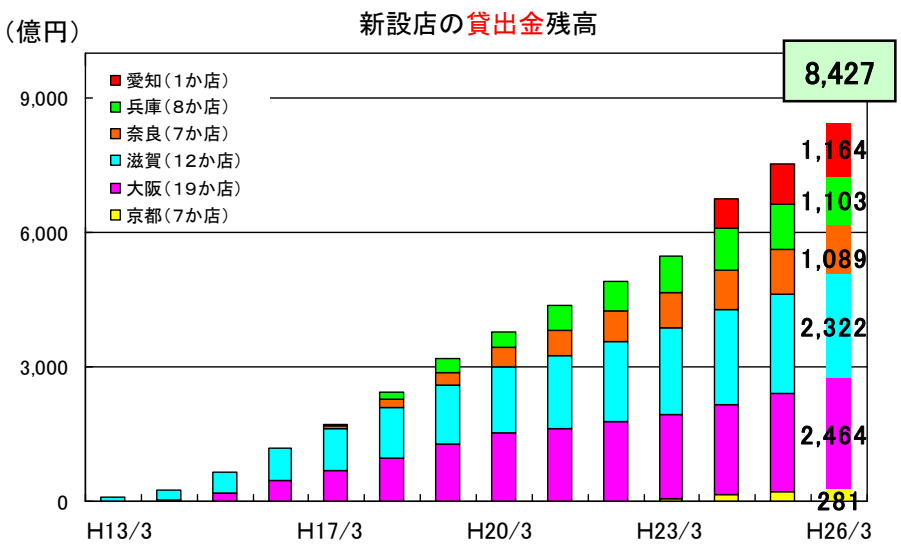
- 「新設店の収益拡大」施策の実施
- 「滋賀県・奈良県は個人部門」、「阪神エリアはリテール企業部門」を重点強化
- 成長エリアおよび空白エリアに対して「面的補強を行う店舗新設」の実施
- 周囲の景観や地球環境にも配慮した店舗リニューアル

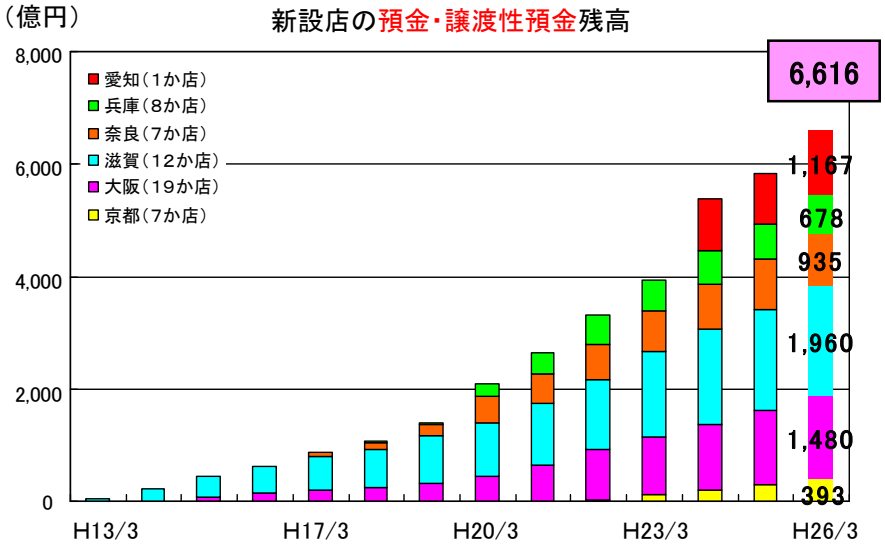


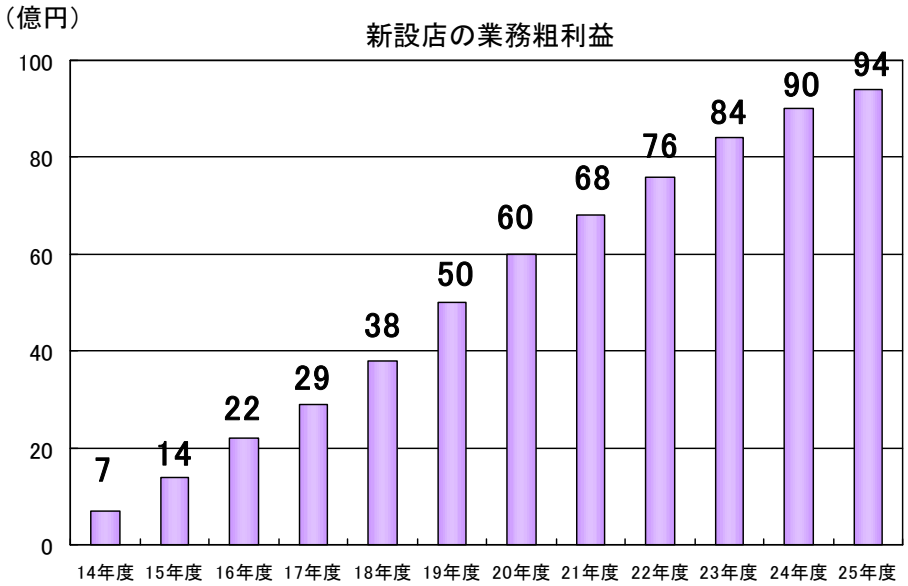
# 10. 新設店舗の状況

京都銀行

## 新設店舗の規模拡大・収益力強化が、「今後の成長の原動力」




○新設店舗における
預貸金残高は全体の13%、
営業部門の業務粗利益は全体の15%まで上昇

○今後、新設店舗の更なる規模拡大・収益力強化が
当行の成長の大きな原動力となる

※新設店＝草津支店（平成12年12月）以降開設店舗。店舗数は平成26年3月末現在

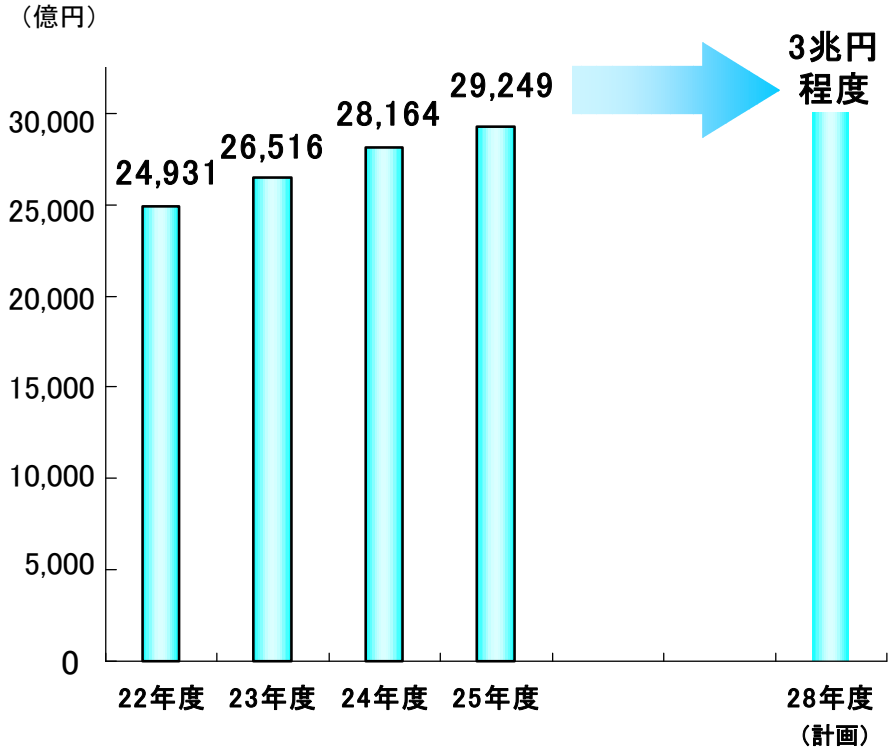
# 11. 市場部門における運用方針

京都銀行

## 市場環境に応じ、適切なポートフォリオを機動的に構築する

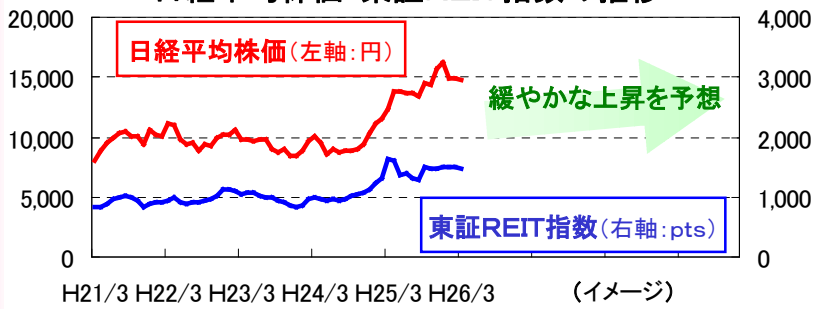
- 有価証券平残は3兆円程度で微増の見通し
- 緩やかな金利上昇を想定し、平均残存年限を機動的にコントロール
- 投資信託（株式投資信託、J-REIT、外債ファンド）の運用を強化し、売買収益や分配金を確保

### 有価証券平残

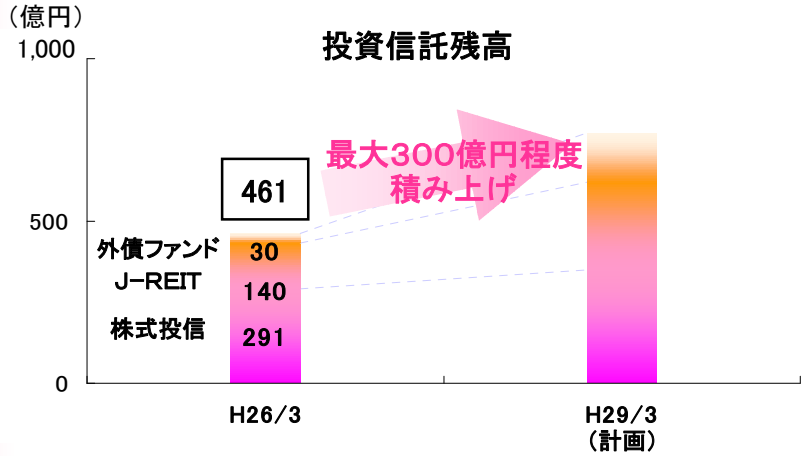



### 投資信託の運用強化

日経平均株価・東証REIT指数の推移




投資信託残高




投資信託評価損益　（億円）

| H25/3 | H26/3 | （前年比） |
|---|---|---|
| 62 | 96 | （+34） |

# 12. 人材戦略

京都銀行

目指すべき行員像

**主体性を発揮し、ワンランク上の仕事を実践する**

## 「金融大学校 桂川キャンパス」をフルに活用

**大ホール**

500人が収容できる「金融大学校 桂川キャンパス」メインホール

**模擬店舗**

実際の店舗と同じ環境を設定し、ロールプレイング研修で実践力向上

**端末研修室**

多数の行員が一斉に受講でき、効率的な研修運営が実現

## 組織活性化

### 女性活躍支援の深化

●女性役席、主任のマネジメント力強化、職域の拡大

＜女性役席者数の推移＞

| H24.3 | H25.3 | H26.3 |
|---|---|---|
| 144名 | 155名 | 168名 |

・平成16年 初の女性支店長　登用
・平成25年 初の女性部長2名 登用

●育児休業者の職場復帰支援
キャリア支援室

＜育児休業者数＞

| H26.3 |
|---|
| 121名 |

### 雇用の多様化

豊富な知識と経験を生かし、70歳まで働ける制度、「アクティブ・シニア制度」を創設

# 13. 業務改革戦略

京都銀行

## 限りある時間・パワーを営業活動（業績の向上）に対して最大限配分する

### 営業生産性向上プロジェクト

**営業生産性の向上**

限りある時間を最大化

意識・意欲 × 実力（経験・ｽｷﾙ・ｾﾝｽ・性格等） × 時間 × 数

＜営業生産性向上＞

「営業店の行員が、限りある時間とパワーを、顧客と接する機会に最大限振り向ける」

●営業店アンケート結果（2,655件）をもとに、営業生産性向上に向けて業務見直しを実行

・融資関連業務、住宅ローン業務の見直し

・研修・会議のより効率的な運営（TV会議システム・eラーニングの活用）

・営業店から本部への報告物の見直し　等

営業力を捻出

### 営業店事務の改革

**16時業務終了体制の確立**

「伝票記入レス」、「印鑑レス」を促進

●窓口業務の効率化と顧客サービスの向上

・新営業店システムによる「ナビゲーション機能」拡大

・ICキャッシュカードの店頭即時発行（平成26年5月試行開始）

●事務負担の大きい業務を営業店から一掃

・相続業務の集中化等

# 14. グループ収益の拡大

京都銀行

## 外部収益の拡大 と 収益の多様化

### 外部収益の拡大

**リース推進による金融サービスの提供**

●営業店に、リース推進責任者を設置し、
リース会社と一体となったアプローチ

**クレジットカード推進による決済サービスの強化**

●営業店との連携による加盟店の増加

●プラチナカードによるカード会員の増量

### グループ会社との一層緊密な業務連携による収益の多様化

**住宅ローンの推進**

●銀行と保証会社が一体となった、
良質な住宅ローンの増量

**シンクタンク機能の活用**

●会員組織（銀行取引先）に対する講演会、経営セミナー、経営相談会等の充実

●産業調査の活用等、グループ一体となった業務展開

### 連結子会社

| | 業務内容 |
|---|---|
| 烏丸商事㈱ | 不動産管理・賃貸業務、当行役職員への商品等斡旋業務 |
| 京銀ビジネスサービス㈱ | 事務代行業務 |
| 京都信用保証サービス㈱ | 信用保証業務 |
| 京銀リース・キャピタル㈱ | リース業務、投資業務 |
| 京都クレジットサービス㈱ | クレジットカード業務（DC） |
| 京銀カードサービス㈱ | クレジットカード業務（JCB、ダイナース） |
| ㈱京都総合経済研究所 | 経済調査・研究業務、経営相談業務 |

### 連結損益

（単位：億円）

| | 〈連結〉25年度 | 〈銀行単体〉25年度 | 連結子会社の利益反映分 |
|---|---|---|---|
| 業務粗利益 | 858 | 814 | |
| 業務純益 | 267 | 240 | |
| 経常利益 | 286 | 264 | |
| 当期純利益 | 167 | 160 | 7 |

# 15. 社会貢献活動

京都銀行

## 環境保全への取組み

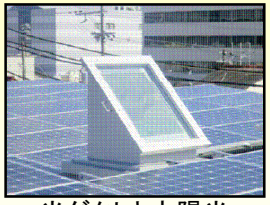
### 「$CO_2$排出量ゼロ店舗」（東長岡支店）

東長岡支店外観

最先端の設備を活用し、
二酸化炭素排出量を従来比
約39%削減、残る61%
相当を太陽光発電により賄う

屋内壁面緑化

ビオトープ（水域）



光ダクトと太陽光
発電パネル

### 「第二次環境プラン」（H26～28年度）制定

【数値目標】
電気、ガス、ガソリンの各使用量について、平成25年度を基準として毎年1%以上の削減を目標とする

### 「京銀ふれあいの森」の整備活動

京都市北区の
本山（もとやま）
国有林での
森林保全活動

## 地域貢献活動

### 地元スポーツチームのサポートを通じた地域貢献

地元京都のJリーグクラブ
「京都サンガF．C．」および

プロバスケットbjリーグの
「京都ハンナリーズ」を
サポート

### 「“I Love Kyoto” キャンペーン」・「“I Love Shiga ” キャンペーン」

“京都を愛するこころ”を広く人々の意識に
育みたいとの思いから、昭和57年より
「“I Love Kyoto” キャンペーン」を展開。
　また、平成25年春からは滋賀の豊かな
自然景観や歴史的遺産などを紹介する
「“I Love Shiga”キャンペーン」もスタート

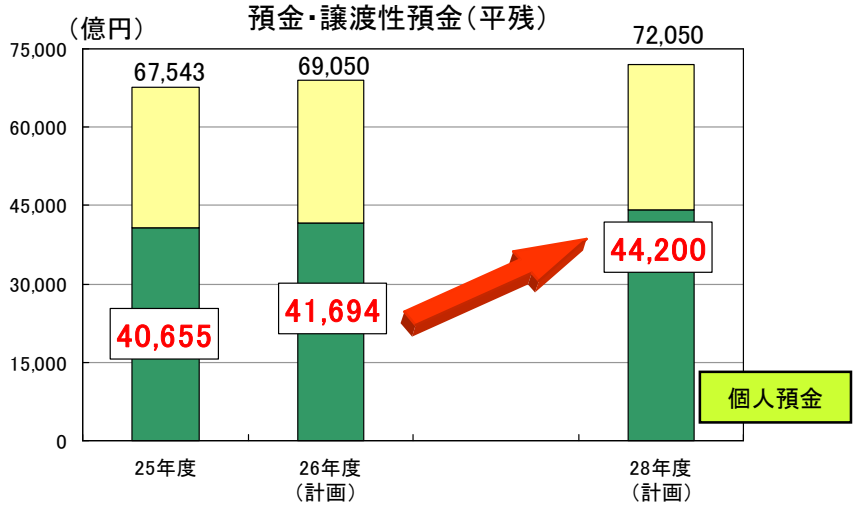
# Ⅲ．第５次中期経営計画
# 計数計画

# 1. 中期経営計画・計数計画①資金量・利回

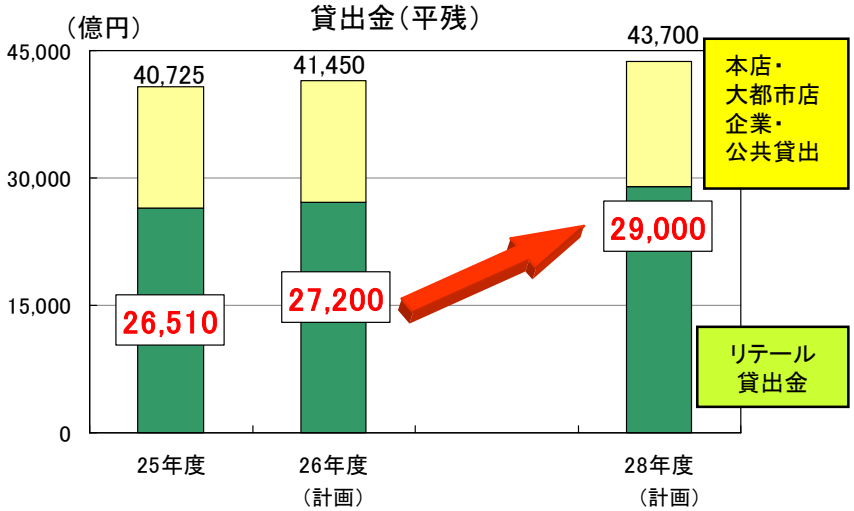
京都銀行

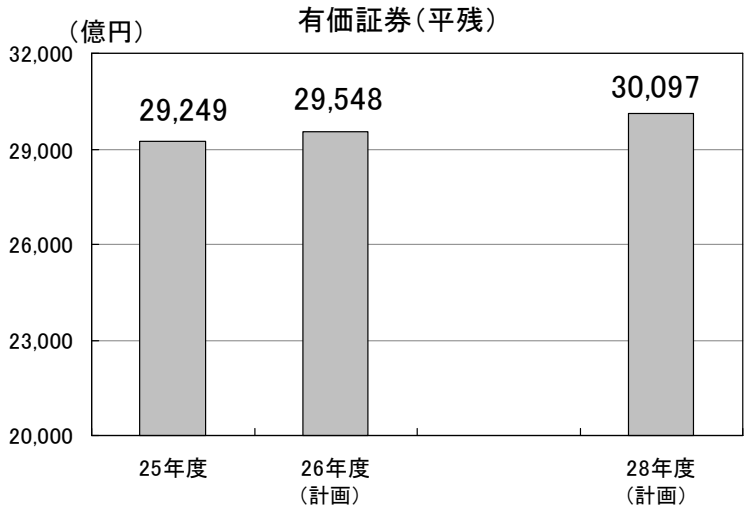
**調達は個人預金、運用はリテール貸出金を中心に増加**

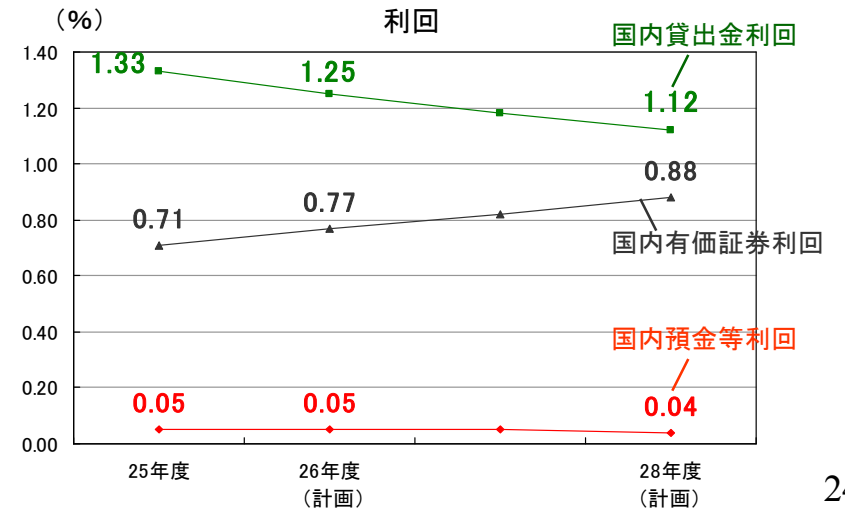
中計3年間で
預金・譲渡性預金　4,507億円増加
**うち個人預金　3,545億円増加**




中計3年間で
総貸出金　2,975億円増加
**うちリテール貸出金　2,490億円増加**



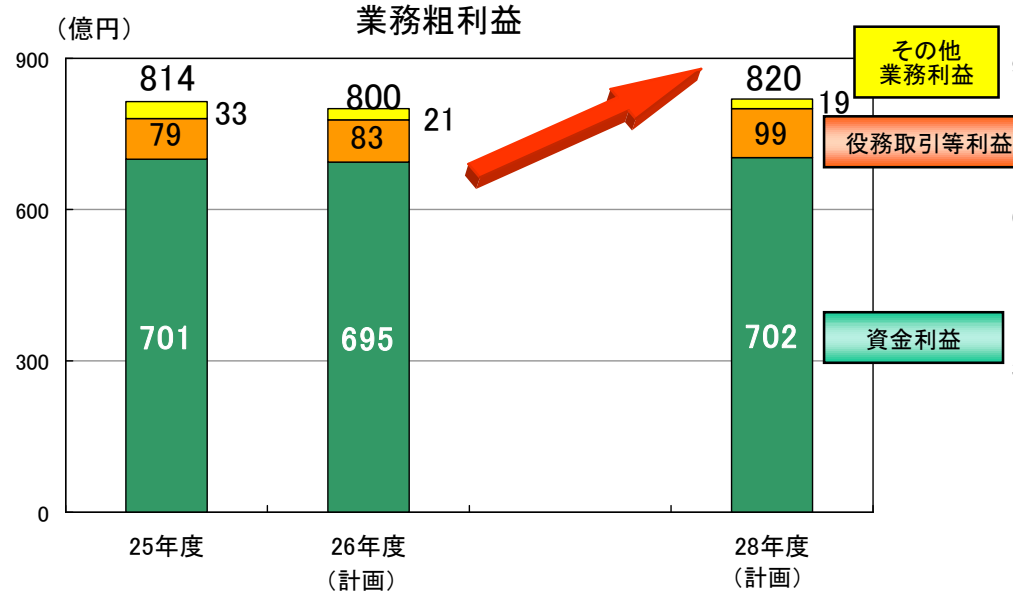



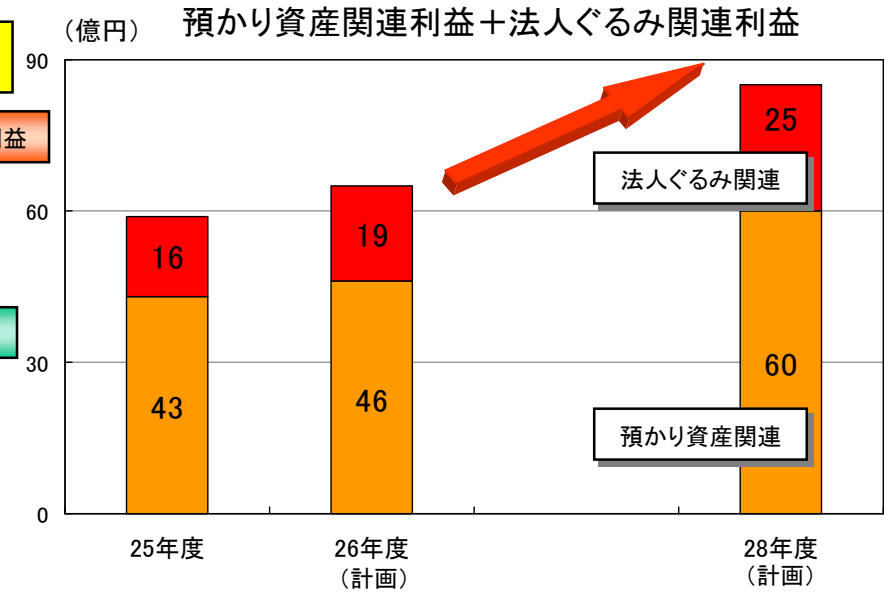



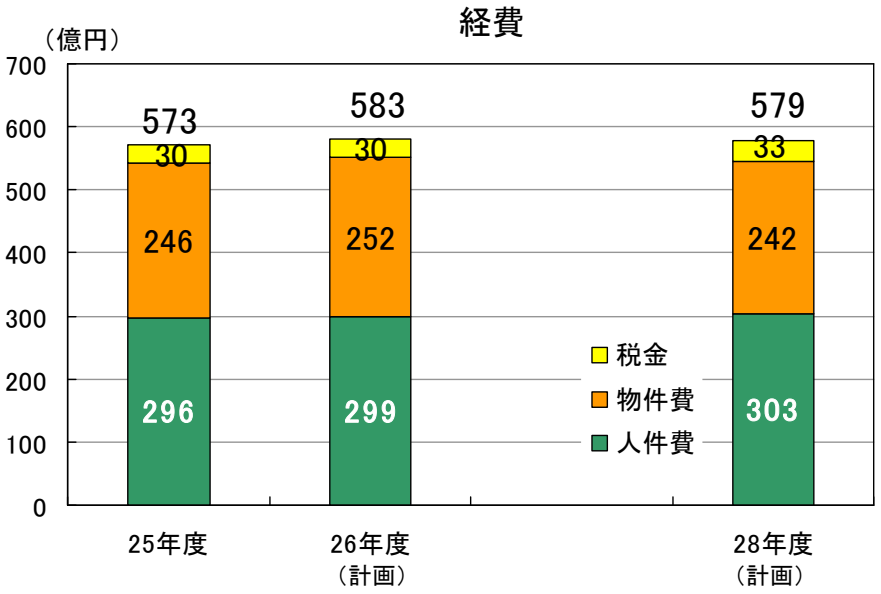
# 2. 中期経営計画・計数計画②収益

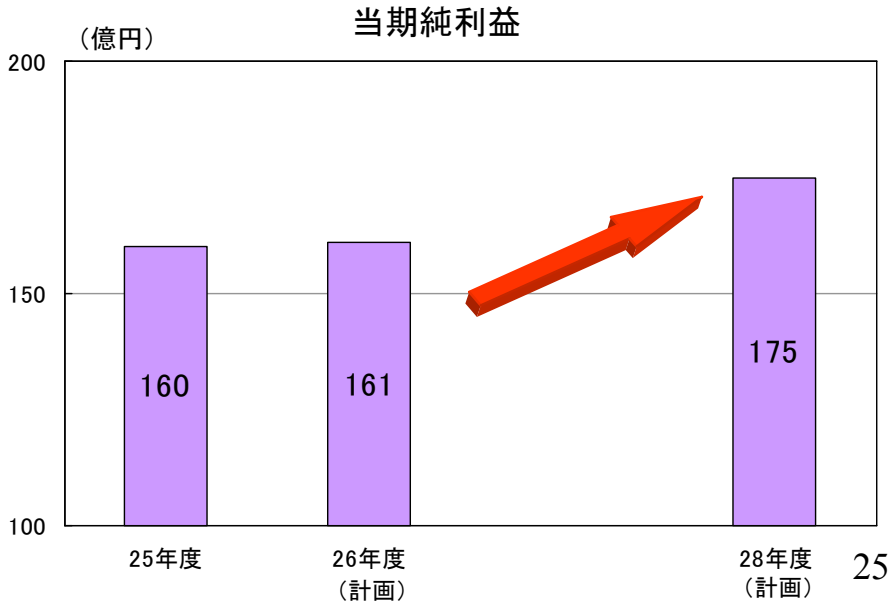
京都銀行

**資金利益の反転、役務取引等利益等の拡大により、業務粗利益を拡大**



# Ⅳ．資料編

# 資料編1. 貸出金(主体・エリア別)

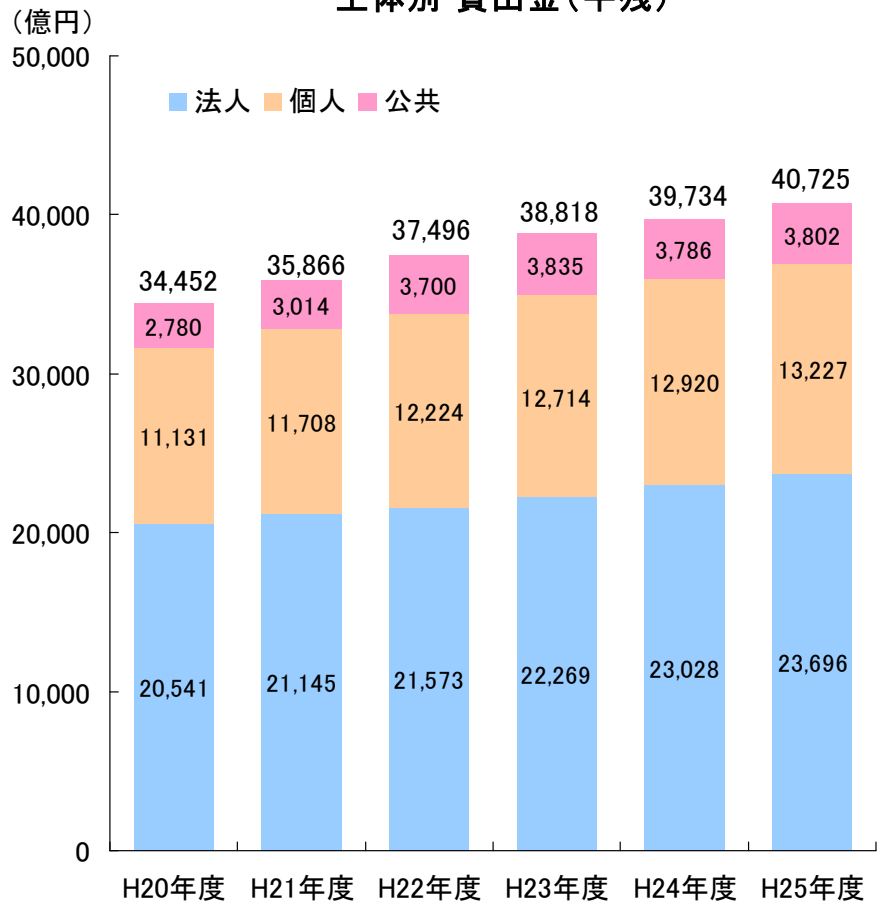
京都銀行

## 貸出金平残の推移

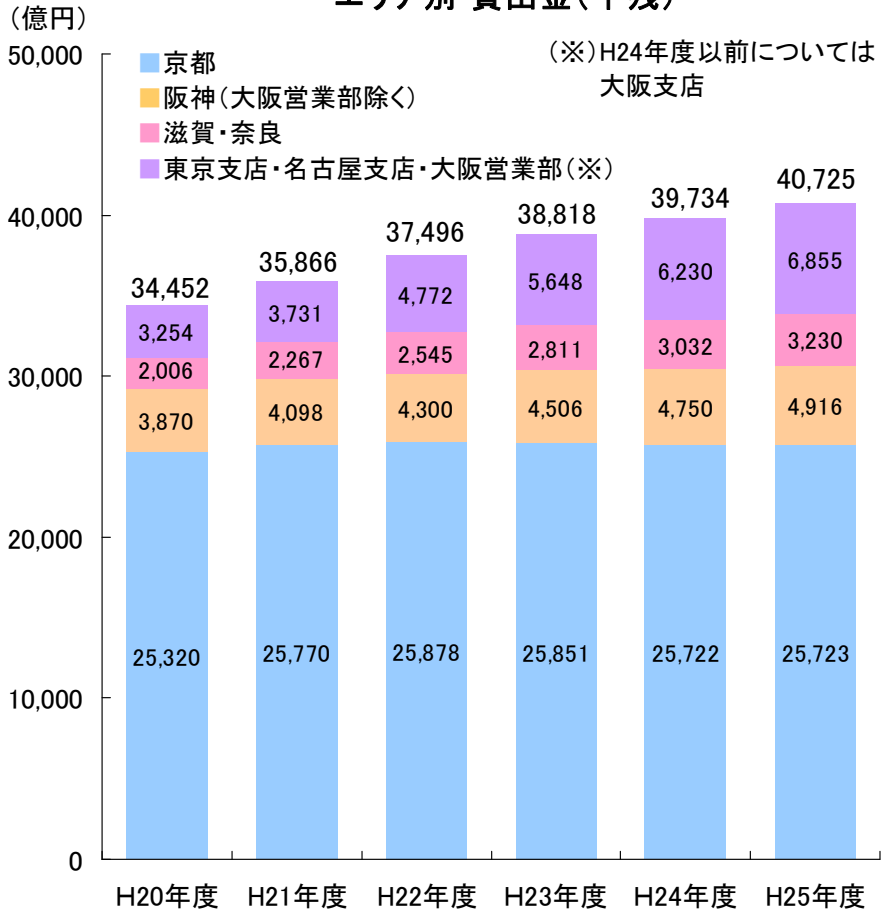
**H25年度実績 (前年度比)**
法人＋668億円、個人＋307億円、公共＋16億円

**H25年度実績 (前年度比)**
京都＋1億円、阪神＋166億円、滋賀・奈良＋198億円、
東京支店・名古屋支店・大阪営業部＋625億円

### 主体別 貸出金(平残)




### エリア別 貸出金(平残)



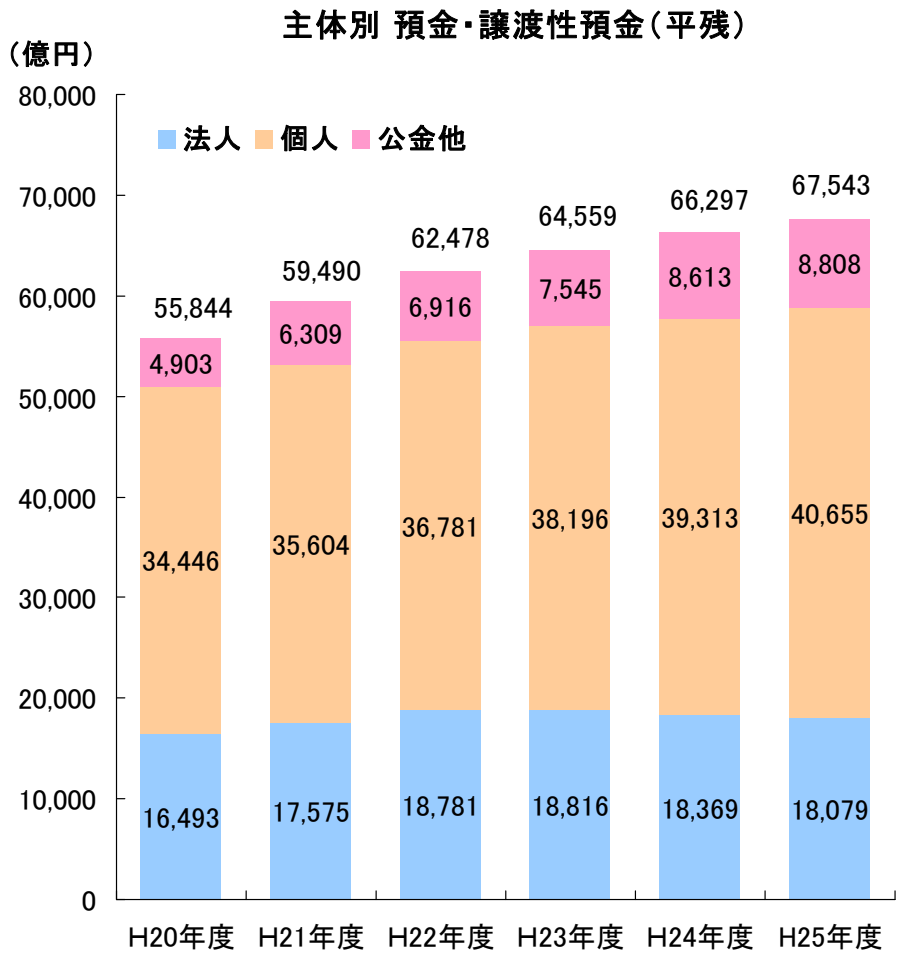
# 資料編2. 預金・譲渡性預金（主体・エリア別）

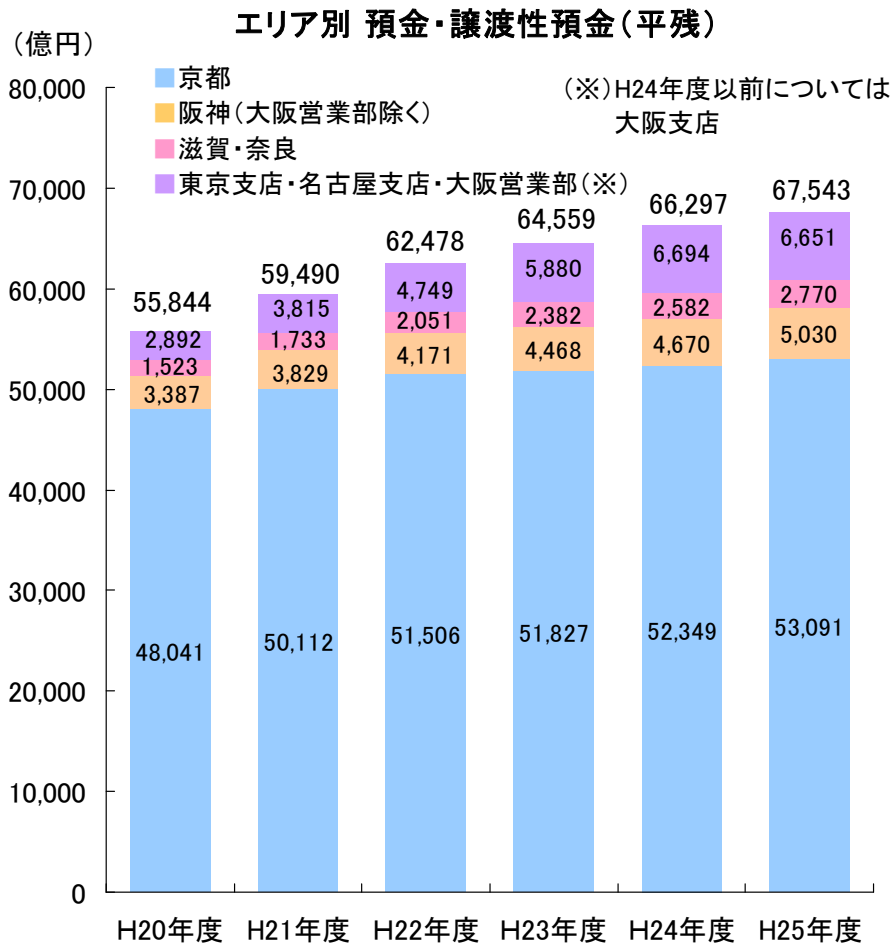
京都銀行

## 預金・譲渡性預金平残の推移

**H25年度実績 （前年度比）**
法人△290億円、個人＋1,342億円、公金他＋195億円

**H25年度実績 （前年度比）**
京都＋742億円、阪神＋360億円、滋賀・奈良＋188億円、
東京支店・名古屋支店・大阪営業部△43億円

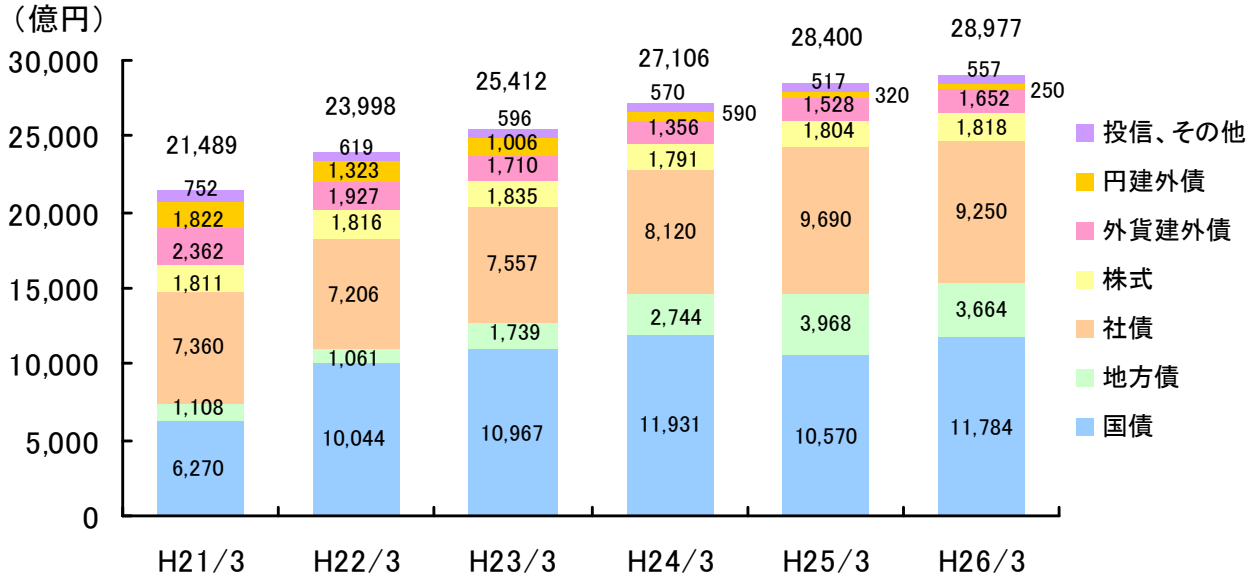


# 資料編3. 有価証券投資の状況

京都銀行

## 有価証券残高の推移




〈注〉時系列比較のため、上記数値は評価損益を除いております。

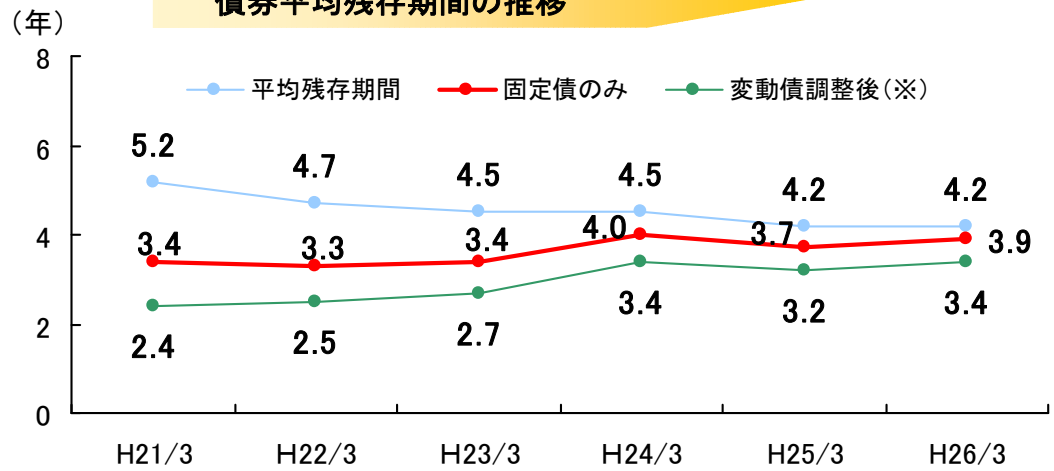
## 26年3月末の有価証券評価損益

（億円）

| 内訳 | 評価損益 |
|---|---|
| ＊国債 | 171 |
| 地方債 | 62 |
| 社債 | 67 |
| 株式 | 2,545 |
| 外債 | 13 |
| その他 | 97 |
| 合計 | 2,957 |

＊変動利付国債については、市場価格により時価評価しております。

## 債券平均残存期間の推移



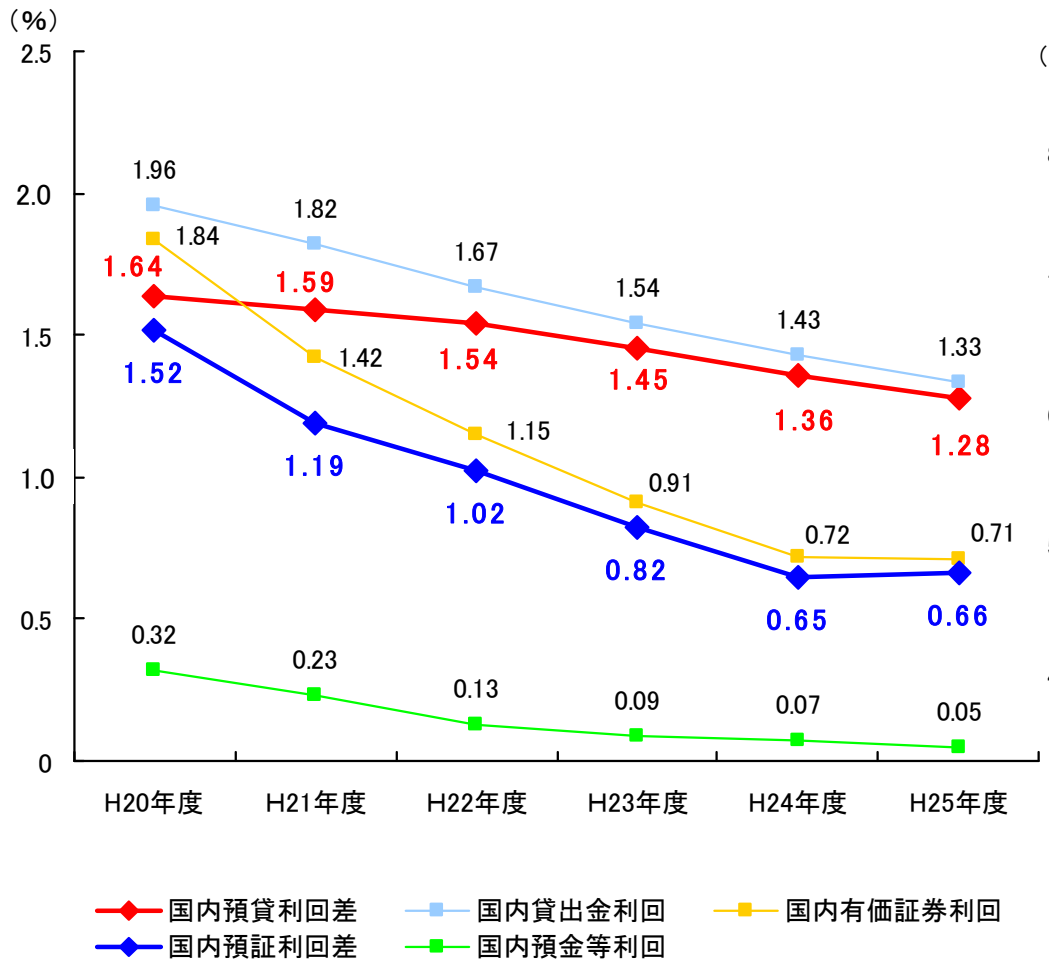

（※）変動債の平均残存期間を0．5年として算出しております。

## ＜参考＞評価損益変動幅

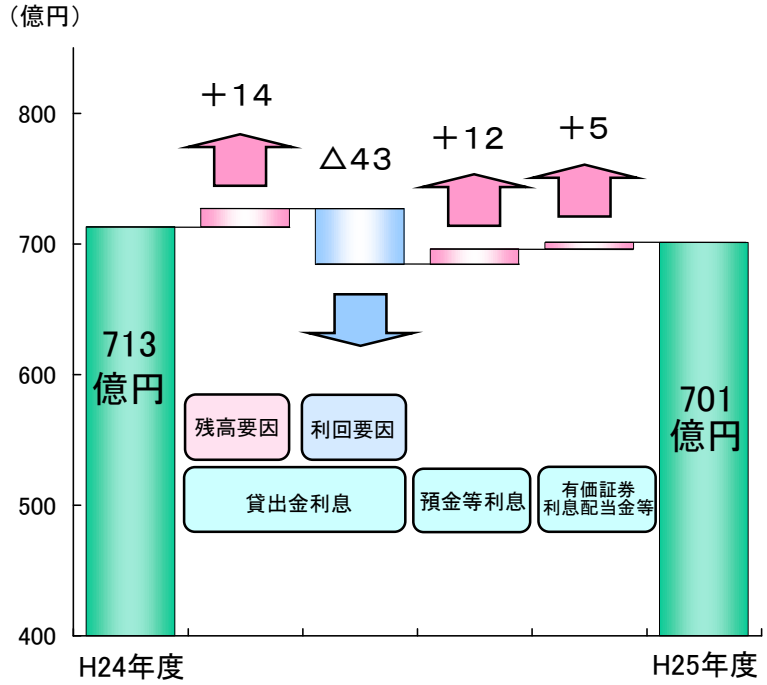
- 円金利が1%上昇した場合の評価損益変動幅
  △854億円
- 日経平均が1,000円下落した場合の株式等評価損益変動幅
  △286億円

京都銀行

## 国内預貸利回差及び国内預証利回差




## 資金利益の増減要因



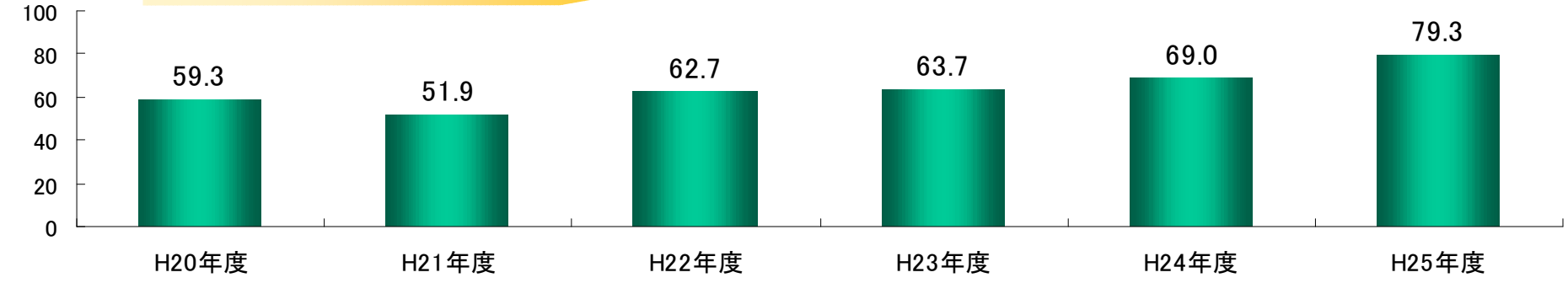

（単位：%）

| | 24年度 | 25年度 |
|---|---|---|
| 国内貸出金利回 | 1.43 | 1.33 |
| 国内預金等利回 | 0.07 | 0.05 |
| 国内有価証券利回 | 0.72 | 0.71 |
| 債券利回 | 0.58 | 0.56 |
| 株式利回 | 2.67 | 2.83 |

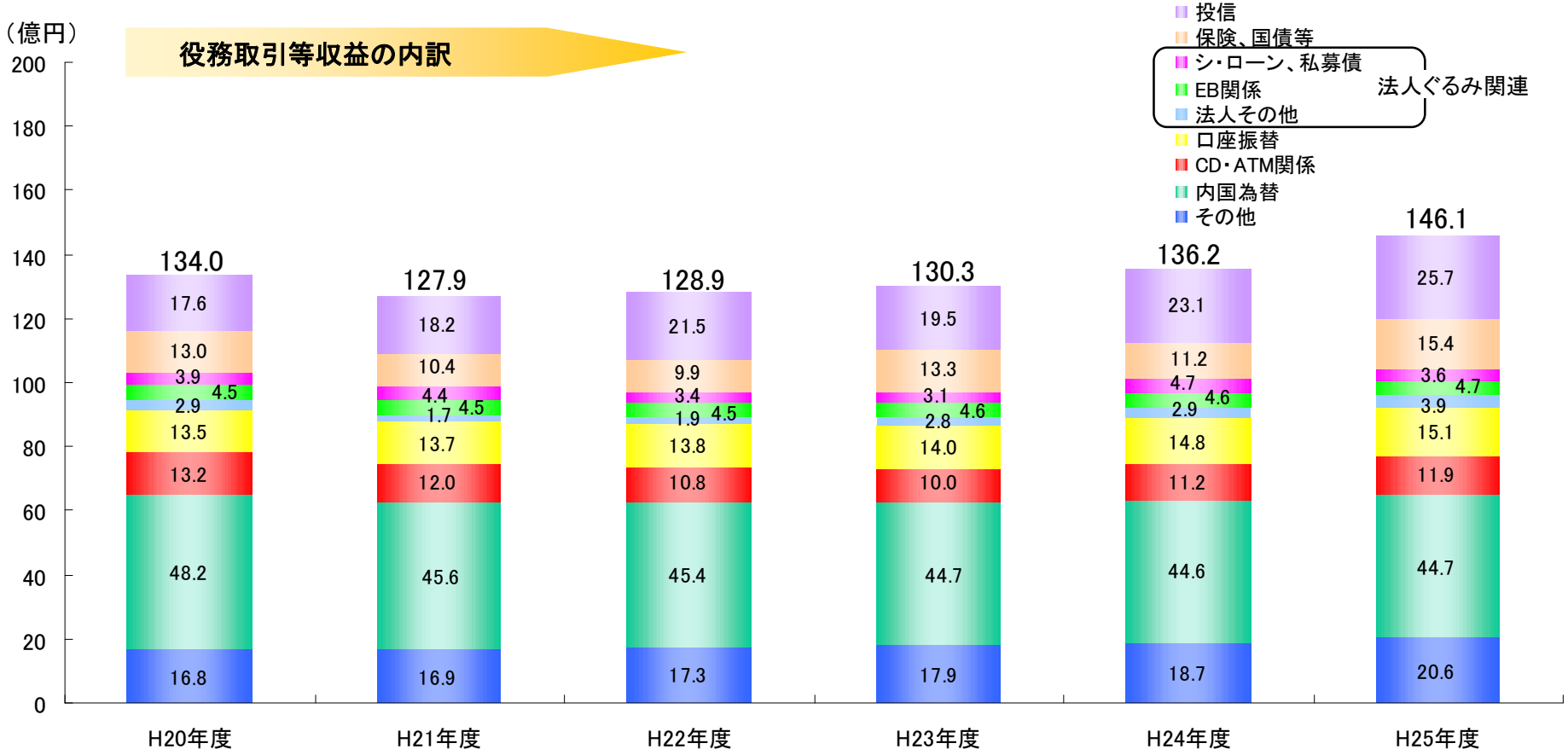
# 資料編5. 役務取引等利益

京都銀行

## 役務取引等利益の推移



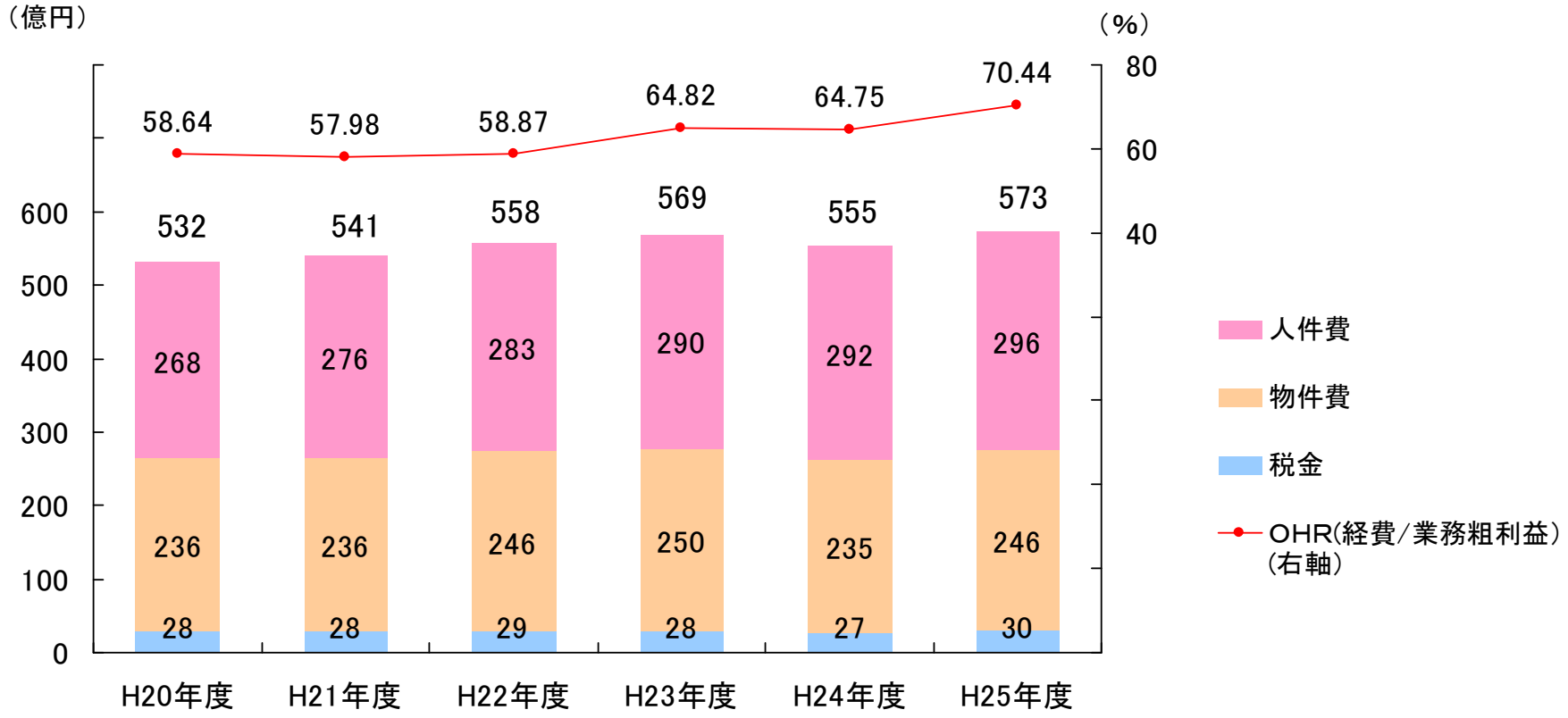

## 役務取引等収益の内訳



# 資料編6. 経費

京都銀行

## 経費とOHRの推移




## 人員の推移

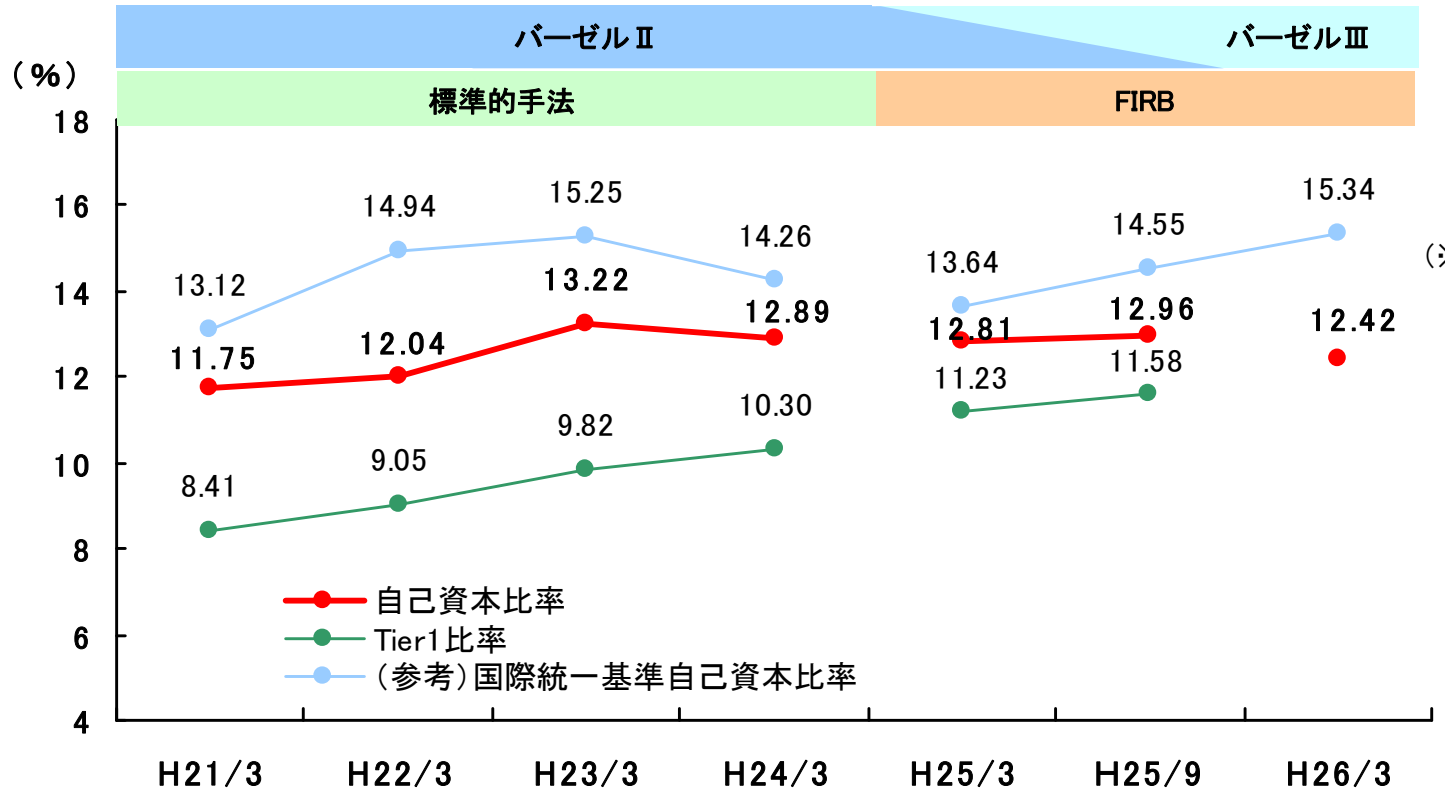
（単位：人）

| | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 平均人員（出向者除く） | 3,088 | 3,207 | 3,299 | 3,370 | 3,444 | 3,448 |

# 資料編7. 自己資本比率(国内基準)

京都銀行

## 自己資本比率の推移




(※)当行は国内基準行のため、平成26年3月末から自己資本比率は「バーゼルⅢ」ベースで算出しております。

このため、平成26年3月末からTier1比率は算出しておりません。

また、参考値の国際統一基準は平成25年3月末より「バーゼルⅢ」ベースで試算しております。

## 自己資本・リスクアセット等の推移

(単位:億円)

| | バーゼルⅡ | | | | | | バーゼルⅢ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 標準的手法 | | | | FIRB | | |
| | 21年3月末 | 22年3月末 | 23年3月末 | 24年3月末 | 25年3月末 | 25年9月末 | 26年3月末 |
| 自己資本比率(国内基準) | 11.75% | 12.04% | 13.22% | 12.89% | 12.81% | 12.96% | 12.42% |
| 自己資本 | 3,775 | 3,859 | 4,103 | 3,955 | 3,601 | 3,630 | 3,693 |
| うちTier Ⅰ | 2,701 | 2,901 | 3,047 | 3,160 | 3,157 | 3,244 | — |
| リスクアセット等 | 32,116 | 32,046 | 31,022 | 30,678 | 28,098 | 28,012 | 29,723 |

# 資料編8. 統合リスク管理

京都銀行

【統合リスク量の状況】
◆ 平成25年度下期の資本配賦額は1，480億円、平成26年3月末の統合リスク量は1，028億円

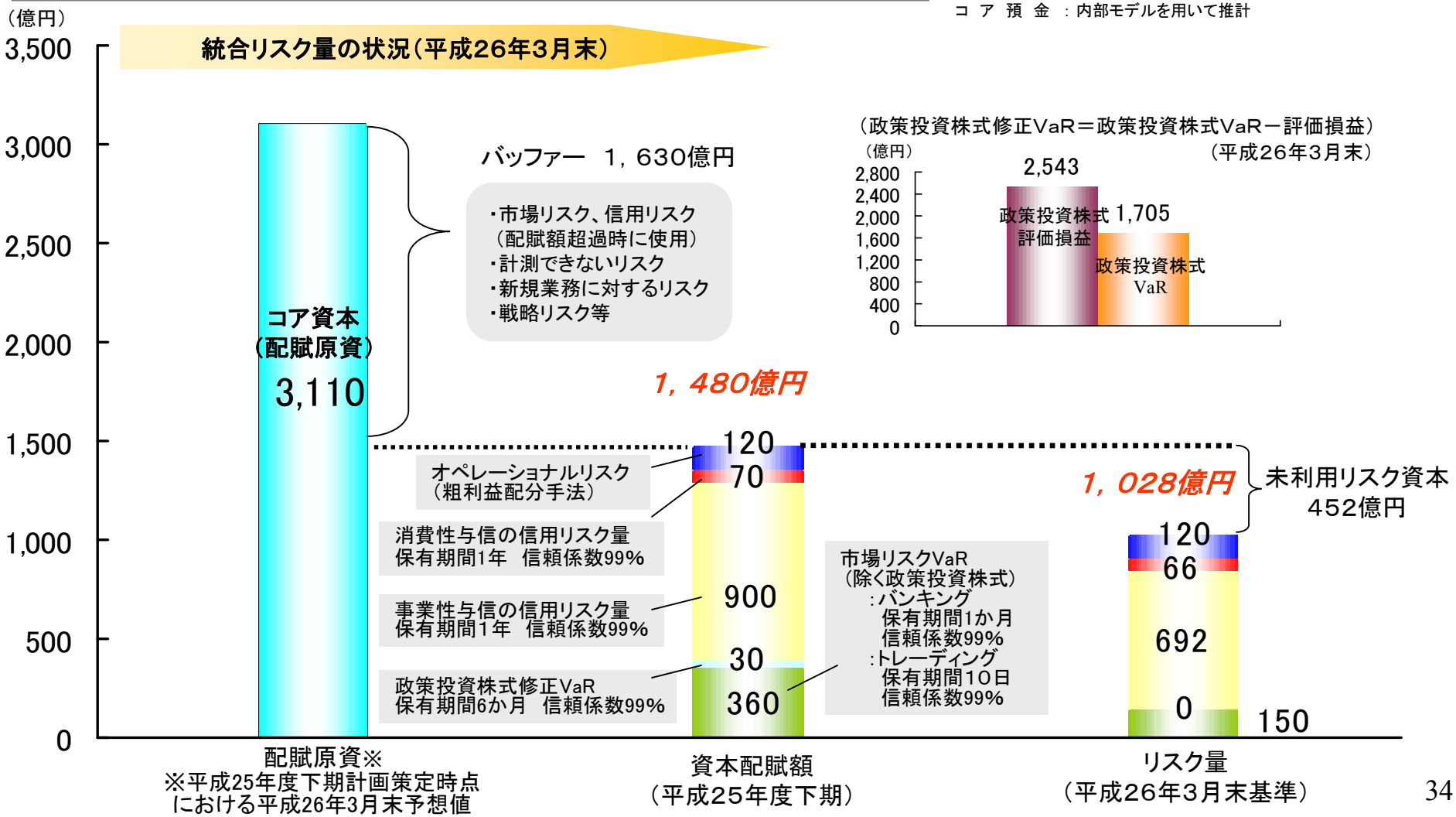
【アウトライヤー比率】
◆ 平成26年3月末の標準的金利ショックによって試算される金利リスク量は147億円、アウトライヤー比率は4．0%（前年同月比＋0．1%）

アウトライヤー比率（平成26年3月末）

| 金利リスク量 | 自己資本 | アウトライヤー比率 |
|---|---|---|
| 147億円 | 3,693億円 | 4．0% |

計 測 手 法 ：GPS方式
金利ショック幅 ：99パーセンタイル値と1パーセンタイル値
コ ア 預 金 ：内部モデルを用いて推計

統合リスク量の状況（平成26年3月末）

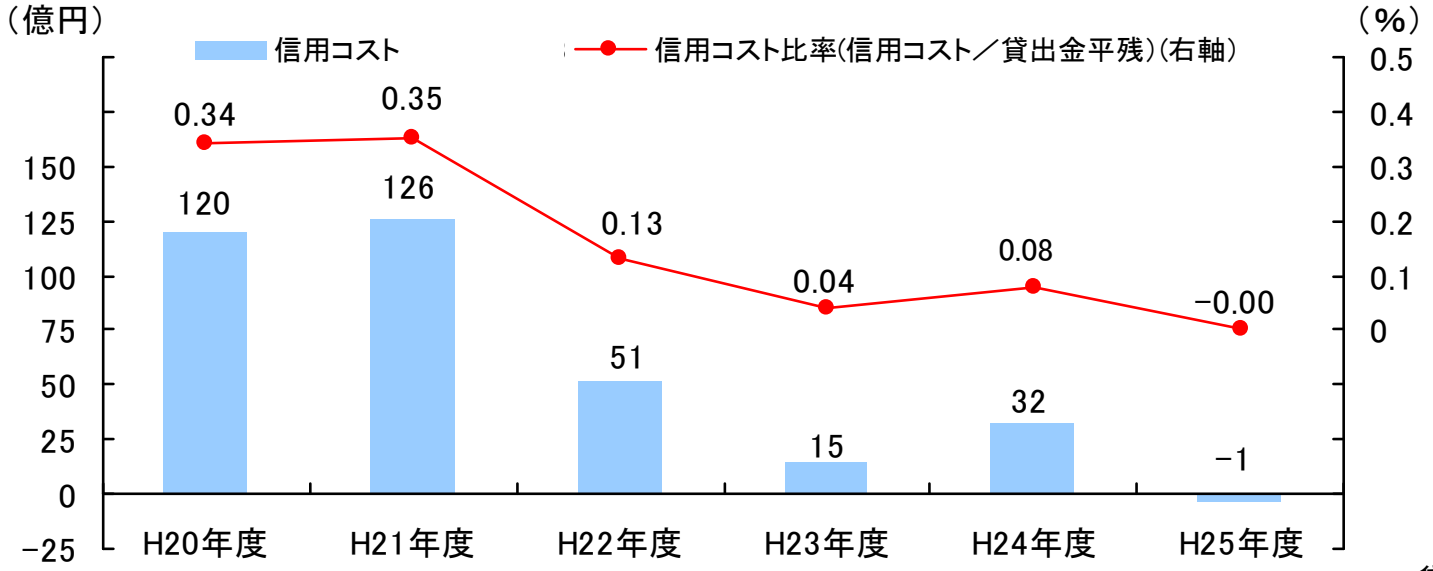



（政策投資株式修正VaR＝政策投資株式VaR－評価損益）
（平成26年3月末）

# 資料編9. 信用コストの状況

京都銀行

## 信用コスト額と信用コスト比率




## 信用コストの内訳

（単位：億円）

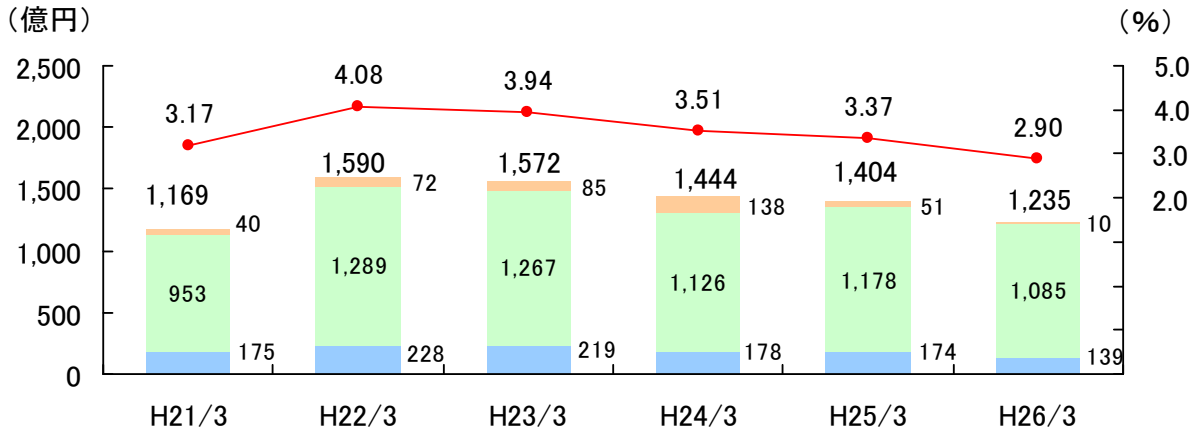
| | 20年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 個別貸倒引当金純繰入額 | 85 | 112 | 46 | 0 | 60 | △ 0 |
| 新規不良債権の発生等に伴う処理額 | 101 | 131 | 52 | 19 | 80 | 21 |
| 回収（含む業況改善）等による取崩し | △ 23 | △ 29 | △ 18 | △ 23 | △ 26 | △ 32 |
| 不動産担保価値下落に伴う処理額等 | 7 | 9 | 13 | 4 | 6 | 11 |
| 貸出金償却 | 1 | 0 | 1 | — | 0 | 0 |
| 貸出債権売却損 | 4 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 4 | 5 | 4 | 3 | 4 | 0 |
| 不良債権処理額 ① | 94 | 118 | 54 | 4 | 66 | 0 |
| 一般貸倒引当金純繰入額 ② | 25 | 8 | △ 2 | 11 | △ 33 | △ 1 |
| 信用コスト ①＋② | 120 | 126 | 51 | 15 | 32 | △ 1 |

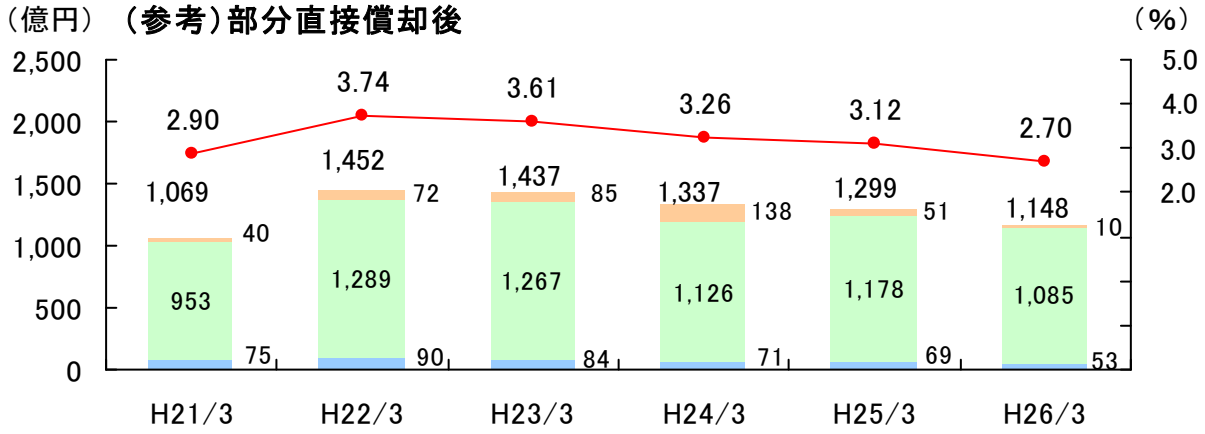
貸倒引当金戻入益　2億円

# 資料編10. 開示債権の状況

京都銀行

## 金融再生法開示債権・比率の推移




要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権
開示債権比率（右軸）

## 金融再生法開示債権の増減要因

（単位：億円）

| | 25年度中 |
|---|---|
| 金融再生法開示債権の増減 | △ 169 |
| 新規不良債権の発生による増加 | 244 |
| オフバランス化等による減少 | 414 |
| 直接償却 | 7 |
| バルクセール | 52 |
| 実回収および業況改善 | 354 |

## リスク管理債権の推移

（単位：億円）

| | 21年3月末 | 22年3月末 | 23年3月末 | 24年3月末 | 25年3月末 | 26年3月末 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| リスク管理債権額 | 1,156 | 1,584 | 1,567 | 1,438 | 1,400 | 1,232 |
| リスク管理債権額＜部直後＞ | 1,057 | 1,448 | 1,433 | 1,333 | 1,295 | 1,146 |
| リスク管理債権比率 | 2.92% | 3.78% | 3.64% | 3.28% | 3.14% | 2.72% |

# 資料編11. 開示基準別の分類・保全状況

京都銀行

（単位：億円）

**自己査定結果（債務者区分別）**
対象：貸出金等与信関連債権

| 区分<br>与信残高 | 分類<br>Ⅰ分類 | Ⅱ分類 | Ⅲ分類 | Ⅳ分類 |
|---|---|---|---|---|
| 破綻先<br>49 | 44 | 4 | －<br>（ 0） | －<br>（ 40） |
| 実質破綻先<br>90 | 60 | 29 | －<br>（ 1） | －<br>（ 46） |
| 破綻懸念先<br>1,084 | 638 | 325 | 120<br>（120） | |
| 小計<br>1,224 | 743 | 360 | 120 | |
| 要管理先<br>14 | 8 | 6 | | |
| 計<br>1,239 | 752 | 366 | 120 | － |
| 要管理先以外の要注意先<br>5,335 | 1,895 | 3,440 | | |
| 正常先<br>35,831 | 35,831 | | | |
| 合計<br>42,406 | 38,479 | 3,806 | 120<br>（122） | －<br>（86） |

Ⅰ分類とは引当金、優良担保・優良保証等でカバーされている債権

**金融再生法開示債権**
対象：要管理債権は貸出金のみ
その他は貸出金等与信関連債権、銀行保証付私募債

| 区分<br>与信残高 | 担保等による保全額 | 引当額 | 保全率 |
|---|---|---|---|
| 破産更生債権及びこれらに準ずる債権<br>① 139 | 51 | 88 | 100.0% |
| 危険債権<br>② 1,085 | 843 | 120 | 88.8% |
| 小計<br>1,224 | 894 | 209 | 90.1% |
| 要管理先<br>14 | 7 | 0 | 53.4% |
| 要管理債権（貸出金のみ）<br>③ 10 | 6 | 0 | 67.1% |
| 開示債権①～③ 計<br>1,235 | 901 | 209 | 89.9% |

**リスク管理債権**
対象：貸出金

| 区分<br>貸出金残高 | |
|---|---|
| 破綻先債権 | 66 |
| 延滞債権 | 1,155 |
| 小計 | 1,222 |
| 3か月以上延滞債権 | 0 |
| 貸出条件緩和債権 | 9 |
| 合計 | 1,232 |

（注1）貸出金等与信関連債権：貸出金、支払承諾見返、外国為替、貸出金に準ずる仮払金および未収利息等であります。
（注2）破綻先、実質破綻先および破綻懸念先の自己査定における分類額
Ⅰ分類額　引当金、優良担保（預金等）・優良保証（信用保証協会等）等でカバーされている債権
Ⅱ分類額　不動産担保等一般担保・保証等でカバーされている債権
ⅢⅣ分類額　全額または必要額について償却引当を実施、引当済分はⅠ分類に計上（破綻先および実質破綻先のⅢ・Ⅳ分類は全額引当済）
（注3）自己査定結果（債務者区分別）における（ ）内は分類額に対する引当額です。

# 資料編12. プロフィール

京都銀行

## 京都銀行の概要

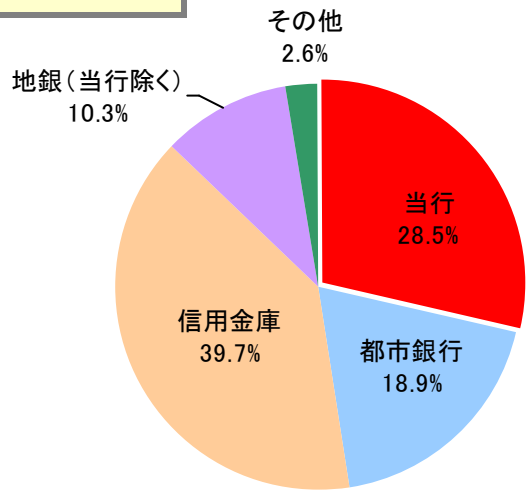
（平成26年3月末現在）

| 項目 | 計数等 | 備考 |
|---|---|---|
| 創立 | 昭和16年10月 | |
| 総資産 | 7兆8，807億円 | |
| 預金＋NCD | 6兆9，844億円 | |
| 貸出金 | 4兆2，232億円 | |
| 資本金 | 421億円 | |
| 有価証券評価損益 | 2，957億円 | |
| 自己資本比率 | 国内基準 …12．42%<br>（参考）BIS基準…15．34% | 単体ベース |
| 格付 | R&I：A＋<br>S&P：A | |
| 従業員数 | 3，361人 | |
| 拠点数 | 店舗数…167か店<br>店舗外ATM …310か所<br>セブン銀行との提携による<br>共同ATM…17，866か所 | |
| 海外拠点 | 香港駐在員事務所<br>上海駐在員事務所<br>大連駐在員事務所<br>バンコク駐在員事務所 | |

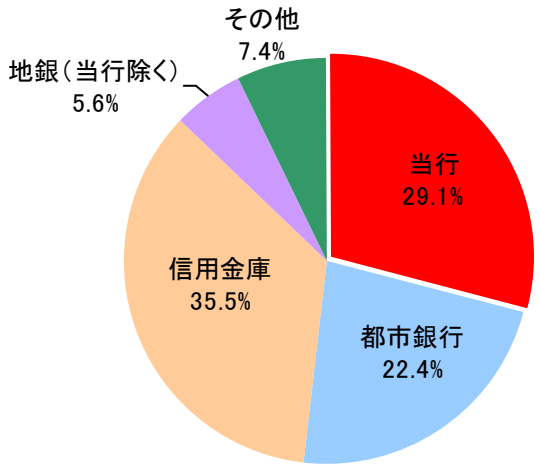
## 京都府内シェア（H26/3）

（銀行、信用金庫、信用組合に占めるシェア）

### 貸出金




### 預金＋譲渡性預金



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれております。
こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、
リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などにより現時点での予想・計画と
異なる可能性があることにご留意ください。

［照会先］

株式会社 京都銀行 総合企画部
電話：075－361－2275
FAX：075－341－1541
http://www.kyotobank.co.jp/